

令和3年度 国内外における偽情報に関する意識調査

－フェイクニュース及び新型コロナウイルス関係の情報流通調査結果－

2022.5.12

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
デジタルコンサルティング部




調査概要	2
調査の概要	2
国際比較結果からみえる日本の特徴	4
調査結果	5
(1-1) 用語の認知度	5
(2-1) 情報の真偽を見分ける自信	7
(3-1) メディアごとのフェイクニュースを見かける頻度	12
(4-1) 見たことのあるフェイクニュースのジャンル	16
(5) フェイクニュースに接することの多い情報源	18
(6-1) フェイクニュース対策に取り組むべき主体	19
(7) 新型コロナウイルスに関する情報やニュースを見たり聞いたりした方法	21
(8-1) 情報の出所・情報源	22
(9-1) 特に信用できる情報源やメディア・サービス	24
(10-1) 新型コロナウイルスの情報から引き起こされた行動	26
(11-1) 新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関して得た情報	28
(12) 新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関する誤情報を見たときの印象・行動	30
(13) 情報の共有・拡散の方法	31
(14) 情報共有・拡散の理由	32
(15) 情報の真偽を確かめた経験の有無	33
(16) 情報の真偽を確かめた方法	34
(17) 真実または真偽不明の情報として記載されていた媒体	35
(18) 情報の真偽について注意喚起を併記していた媒体	36
(19-1) 新型コロナウイルスに関する情報についての意見	37
(20) SNSプラットフォームからの情報真偽の警告や通知	41

調査概要

調査の概要

- 我が国と諸外国における偽情報に関する意識調査では、ウェブアンケートによって、日常の情報入手手段やフェイクニュースの接触経験等の実態を把握することを目的とした。

対象：	<ul style="list-style-type: none">・普段インターネットを1週間に1回以上かつ1日数分以上利用している人を対象とした。 ※電子メールのみの利用者は対象外とした。・年齢（10※、20、30、40、50、60代以上）と性別（男性、女性）の、6属性×2属性で回収設計する。 ※10代は15歳以上。・地域バランス：各国全地域を対象とする。ランダムサンプリングをおこなう。 <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">【例：日本における性年代別の割付数】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><thead><tr><th></th><th>10代</th><th>20代</th><th>30代</th><th>40代</th><th>50代</th><th>60代</th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><th>男性</th><td>166</td><td>166</td><td>167</td><td>167</td><td>167</td><td>167</td><td>1,000</td></tr><tr><th>女性</th><td>166</td><td>166</td><td>167</td><td>167</td><td>167</td><td>167</td><td>1,000</td></tr></tbody></table> <p style="text-align: right;">※諸外国での1,000件回収の場合は、各セルは左表の半分。</p>		10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	男性	166	166	167	167	167	167	1,000	女性	166	166	167	167	167	167	1,000
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計																		
男性	166	166	167	167	167	167	1,000																		
女性	166	166	167	167	167	167	1,000																		
サンプルサイズ：	日本：2,000件 アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、韓国：1,000件																								
調査方法：	ウェブアンケート調査																								
調査台帳：	アンケート調査会社が保有する調査モニター（会員台帳）																								
設問数：	約40問（スクリーニング設問＋本設問）																								

国際比較結果からみえる日本の特徴（1 / 2）

日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、韓国で比較すると下記のような特徴がみられた。

□ 関連用語の認知状況は、日本は対象国中最も低い。ただし、日本での認知度は年々上昇傾向にある。

- ・ フェイクニュース、ディープフェイク、ファクトチェックの3種類を例示し、用語の認知状況を尋ねたところ、「フェイクニュース」は、日本を含めた全対象国において認知度が9～10割に達している。「ディープフェイク」及び「ファクトチェック」については、日本は対象国中最も低い結果となっている。
- ・ なお、日本において過去調査（3期分）から時系列でみると、フェイクニュース、ディープフェイク、ファクトチェックの各用語とも認知度は上昇はしている。

□ 情報の真偽を見分ける自信は、日本は対象国中最も低い。日本の年代別では、10代のみ「自信がある」が「自信がない」を上回る結果。

- ・ 「インターネットやメディアで流れる情報全般」及び、「新型コロナウイルス関連の情報を見分ける自信」について、日本は対象国中最も低い結果となっている。
- ・ なお、インターネットやメディアで流れる情報全般を対象として、日本における年代別状況をみると、20-60代は「自信がない」が「自信がある」を上回った。10代のみ「自信がある」が「自信がない」を上回った。

□ フェイクニュースを見かける頻度（週1回以上）は、日本は3割台となり、対象国中最も低い。

- ・ 「SNSやブログなど」、「テレビや新聞など」で見かけるのは、日本は3割台で、その他の対象国と比べて低い結果となった。
- ・ 「まとめサイト」で見かけたのは約4割台であった。※日本のみを対象に新たに追加。

□ フェイクニュース対策に取り組むべき主体として最も期待されるのは日本、アメリカ、イギリス、フランスで「報道機関、放送局、ジャーナリスト」。

- ・ 最も高くなったのは、日本は「報道機関、放送局、ジャーナリスト」となった。アメリカ、イギリス、フランスも同じ結果である。
- ・ ドイツでは「ソーシャルメディアサービスを提供している事業者」。韓国は「政府機関」となった。ただし各国内で1位～3位までの差は大きくない場合があった。
- ・ なお、日本において過去調査（3期分）から時系列でみると、「報道機関、放送局、ジャーナリスト」及び「個人（信用性の低い情報を拡散しないなど、自身のリテラシー向上）」が上昇した。

□ 新型コロナウイルスに関する情報やニュースを取得する方法は、日本は「民間放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」が最も高い。

- ・ 最も高くなったのは、日本は「民間放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」、諸外国は「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」となった。なお、日本では2番目に「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」となった。
- ・ また、日本や韓国は、欧米と比べて「世界保健機関（WHO）や専門機関のウェブサイトや情報発信」を回答していない（日本8.8%、韓国13.6%）。

国際比較結果からみえる日本の特徴（2 / 2）

□ 新型コロナウイルスに関する情報について特に信用するのは、日本、イギリス、フランス、韓国は「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」。

- ・ 特に信頼できる情報源やメディア・サービスで最も高くなったのは、日本では「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」。イギリス、フランス、韓国と同じである。
- ・ 「アメリカ」では「世界保健機関（WHO）や専門機関のウェブサイトや情報発信」が、「ドイツ」では「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」が最も高くなった。
- ・ 10代～40代において「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」、50代、60代において「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」が高くなった。

□ 情報の真偽について「調べる」かについてみると、日本と韓国は、欧米の対象国よりも低い結果。

- ・ 情報の真偽を「調べる」のは、調査対象国のうち欧米では約4～5割台、日本と韓国のアジア地域では約3割台となった。

□ 情報の真偽を確かめる方法で最も高いのは、日本、フランス、韓国では「自国の政府機関の情報」。

- ・ 日本で最も高くなったのは「自国の政府機関」であった。フランス、韓国も同じ結果となった。
- ・ アメリカ、イギリス、ドイツでは「世界保健機関（WHO）や専門機関による情報を確認した」が最も高くなった。

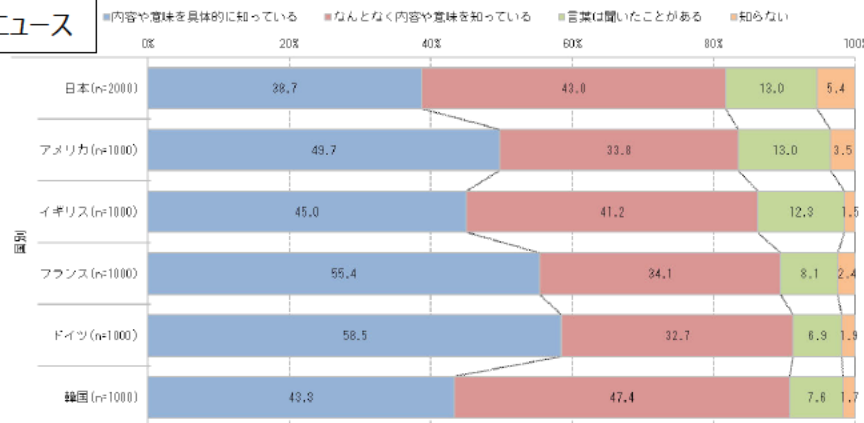
□ 新型コロナウイルスに関する情報についての意見を聞くと、日本を含めた全対象国において、積極的なファクトチェックの実施や、ファクトチェック結果をSNS事業者がユーザーへ届けることが高い結果となった。

- ・ 「思う」（強くそう思う＋ある程度そう思う）に注目する。
- ・ 日本において、上位3つをみると、「新型コロナウイルスについて、何が正しいのか、何が間違っているのかを判断するのは難しい」、「新型コロナウイルスに関するファクトチェックがもっと積極的に行われることが必要だ」、「SNS事業者は新型コロナウイルスに関するファクトチェック結果をユーザに対して届けることが必要だ」であった。
- ・ 全対象国に共通した意見として、「新型コロナウイルスに関するファクトチェックがもっと積極的に行われることが必要だ」、「SNS事業者は新型コロナウイルスに関するファクトチェック結果をユーザに対して届けることが必要だ」への「思う」の割合が上位3位までに入った。

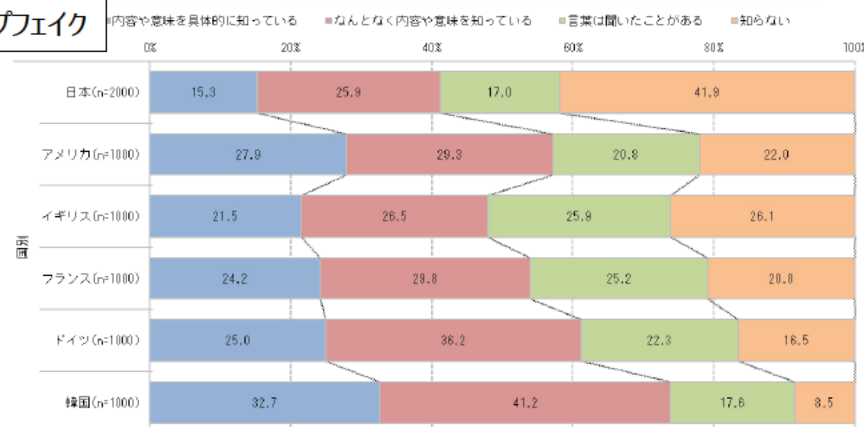
あなたは次の用語について、どの程度知っていますか

- ❑ フェイクニュースを「知っている」のは、**全対象国において約9~10割台となった。**
- ❑ ディープフェイクは、対象国中日本が最も低かった。「日本」(58.2%)は、最も高い「韓国」(91.5%)と33.3ポイント差となった。
- ❑ ファクトチェックは、対象国中日本が最も低かった。「日本」(46.5%)は、最も高い「韓国」(96.6%)と50.1ポイント差となった。

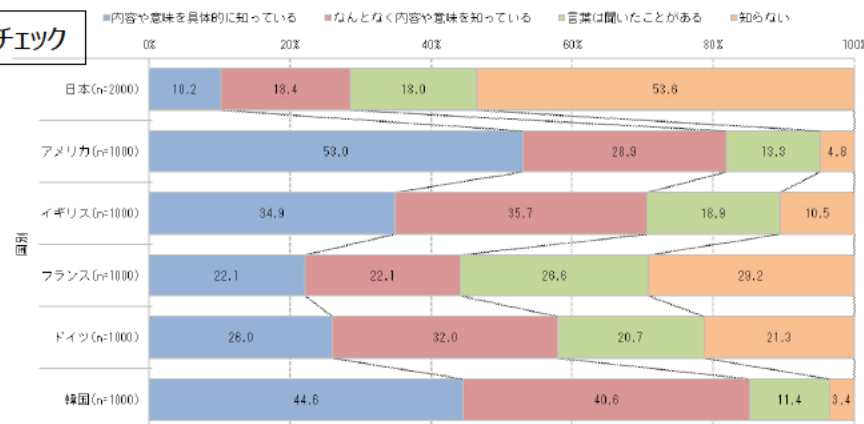
フェイクニュース



ディープフェイク



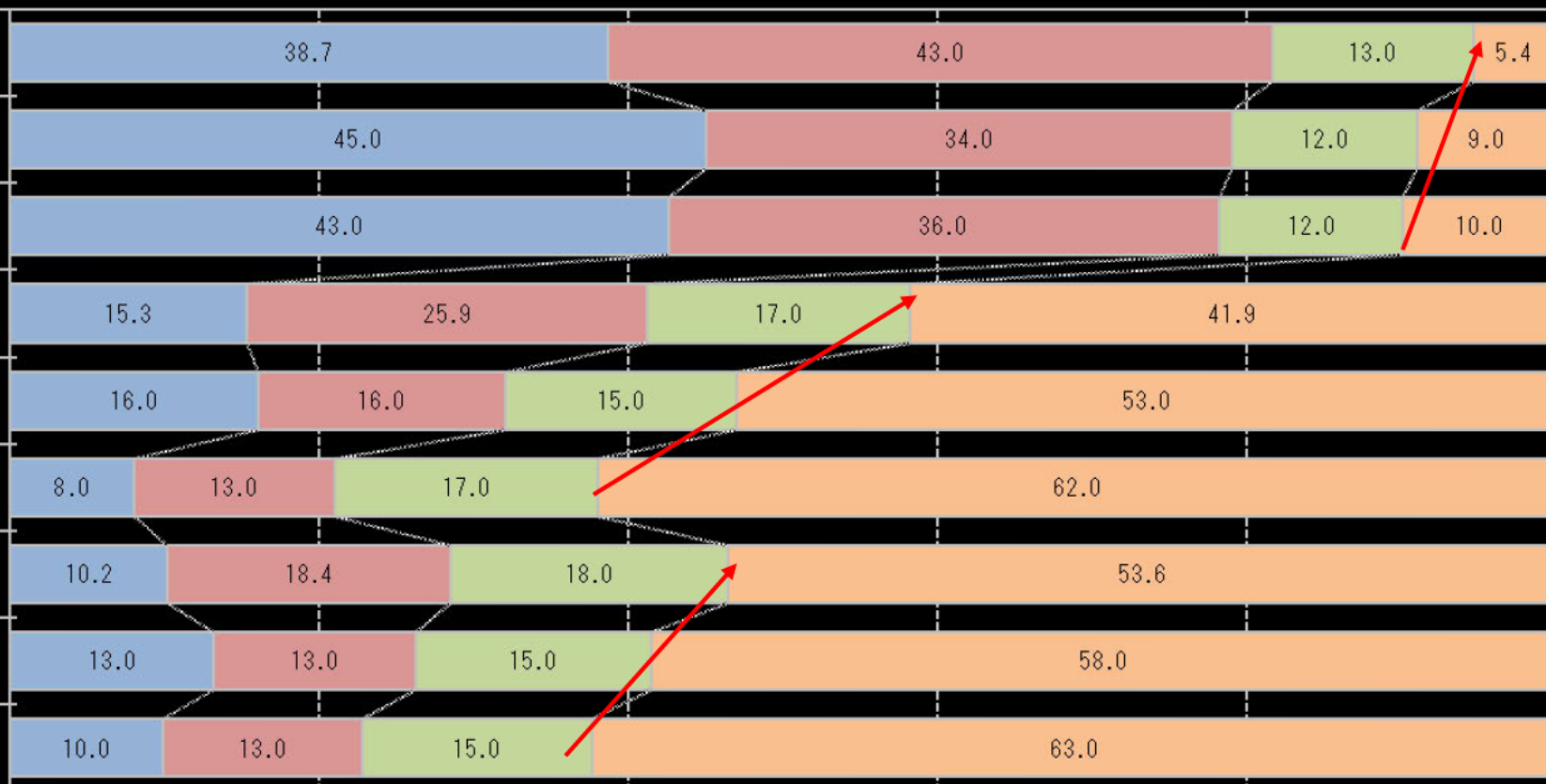
ファクトチェック



フェイクニュース	定まった定義はないが、何らかの利益を得ることや意図的に騙すことを目的としたいわゆる「偽情報」や、単に誤った情報である「誤情報」や「デマ」などを広く指すもの
ディープフェイク	AI技術や機械学習の技術を悪用して作り出された偽の映像
ファクトチェック	(偽情報に対抗するために、情報の真偽を検証する活動のこと)

あなたは次の用語について、どの程度知っていますか

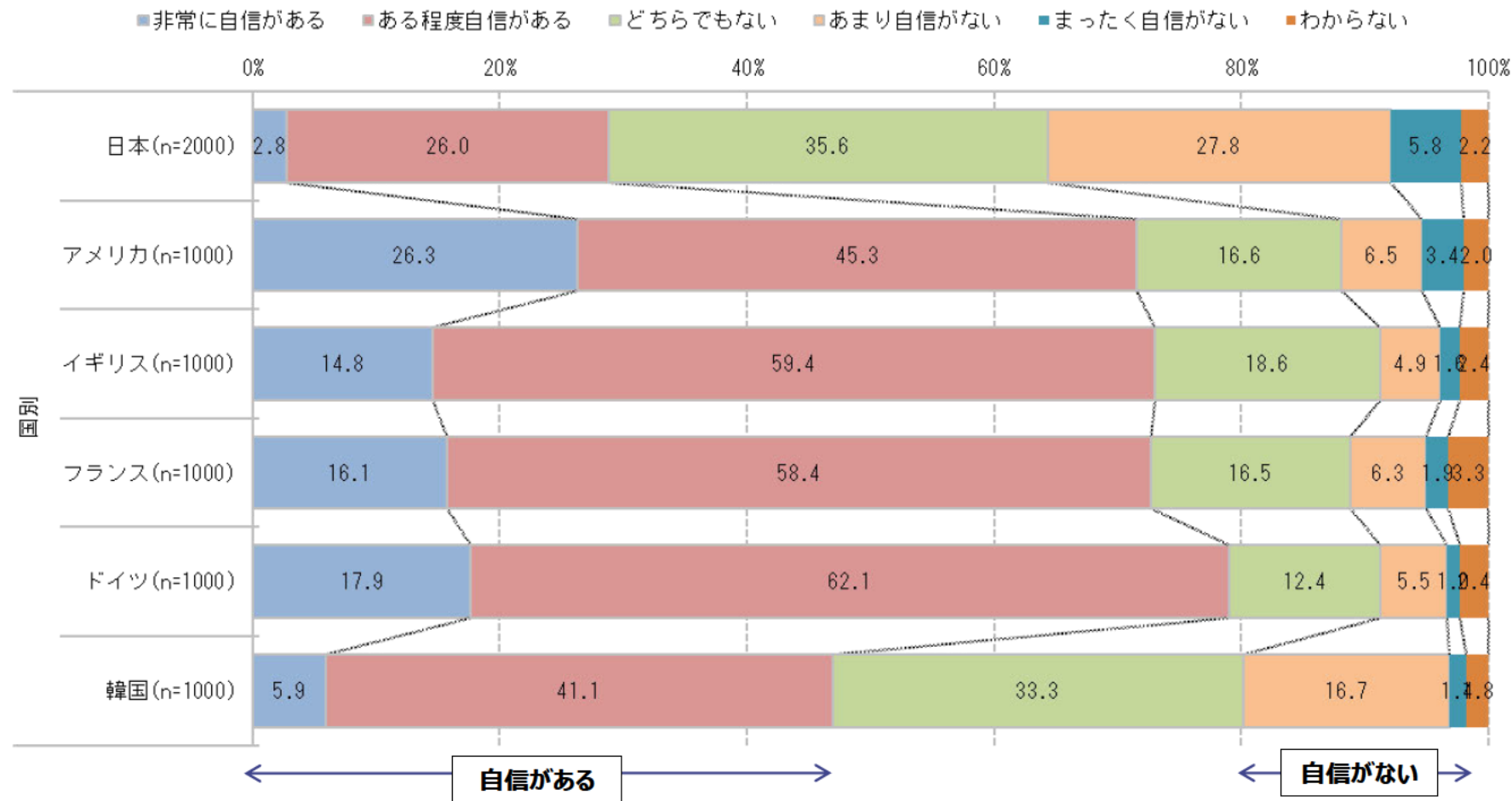
□ 各用語に対する認知度が上昇している。



フェイクニュース	定まった定義はないが、何らかの利益を得ることや意図的に騙すことを目的としたいわゆる「偽情報」や、単に誤った情報である「誤情報」や「デマ」などを広く指すもの
ディープフェイク	AI技術や機械学習の技術を悪用して作り出された偽の映像
ファクトチェック	(偽情報に対抗するために、情報の真偽を検証する活動のこと)

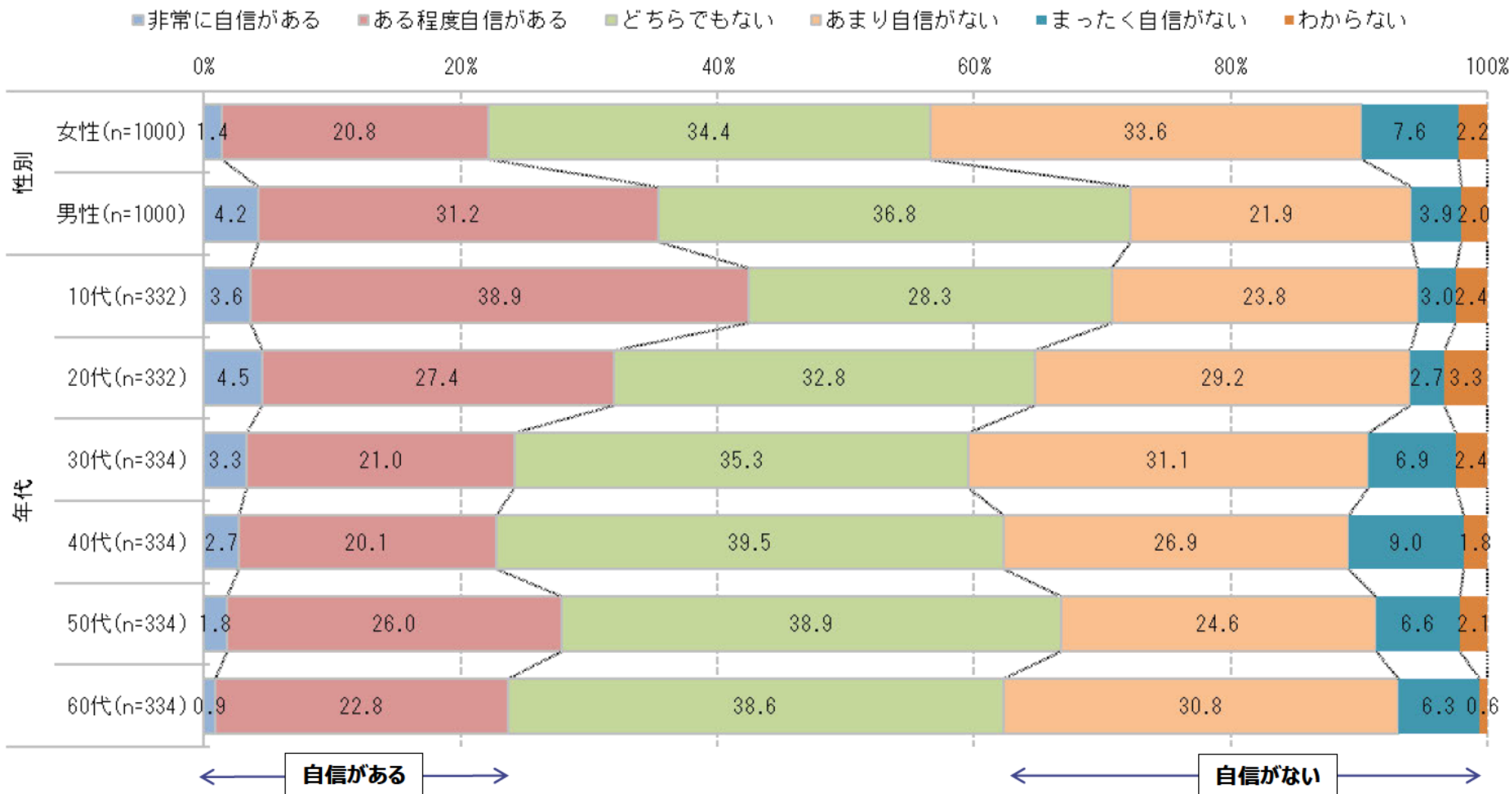
あなたは、情報の真偽を見分ける自信はありますか。それぞれあてはまるものをお知らせください。

□ 「自信がある」(非常に自信がある+ある程度自信がある)に着目すると、日本が対象国中最も低くなった。



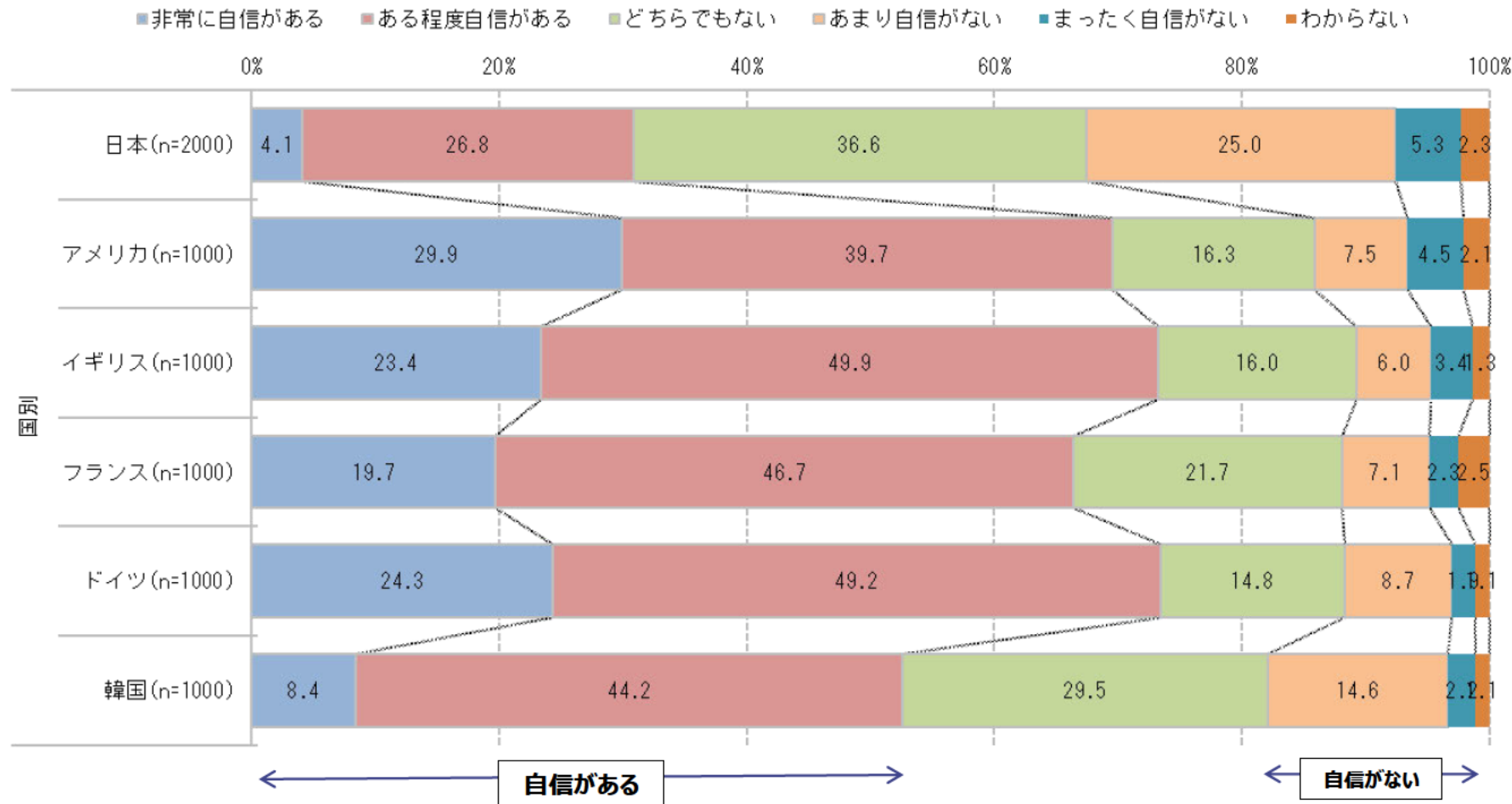
あなたは、情報の真偽を見分ける自信はありますか。それぞれあてはまるものをお知らせください。

□ 日本において年代別にみると、「自信がない」が「自信がある」よりも高くなった年代の方が多くなった。逆に「自信がある」が高くなったのは「10代」のみであった。



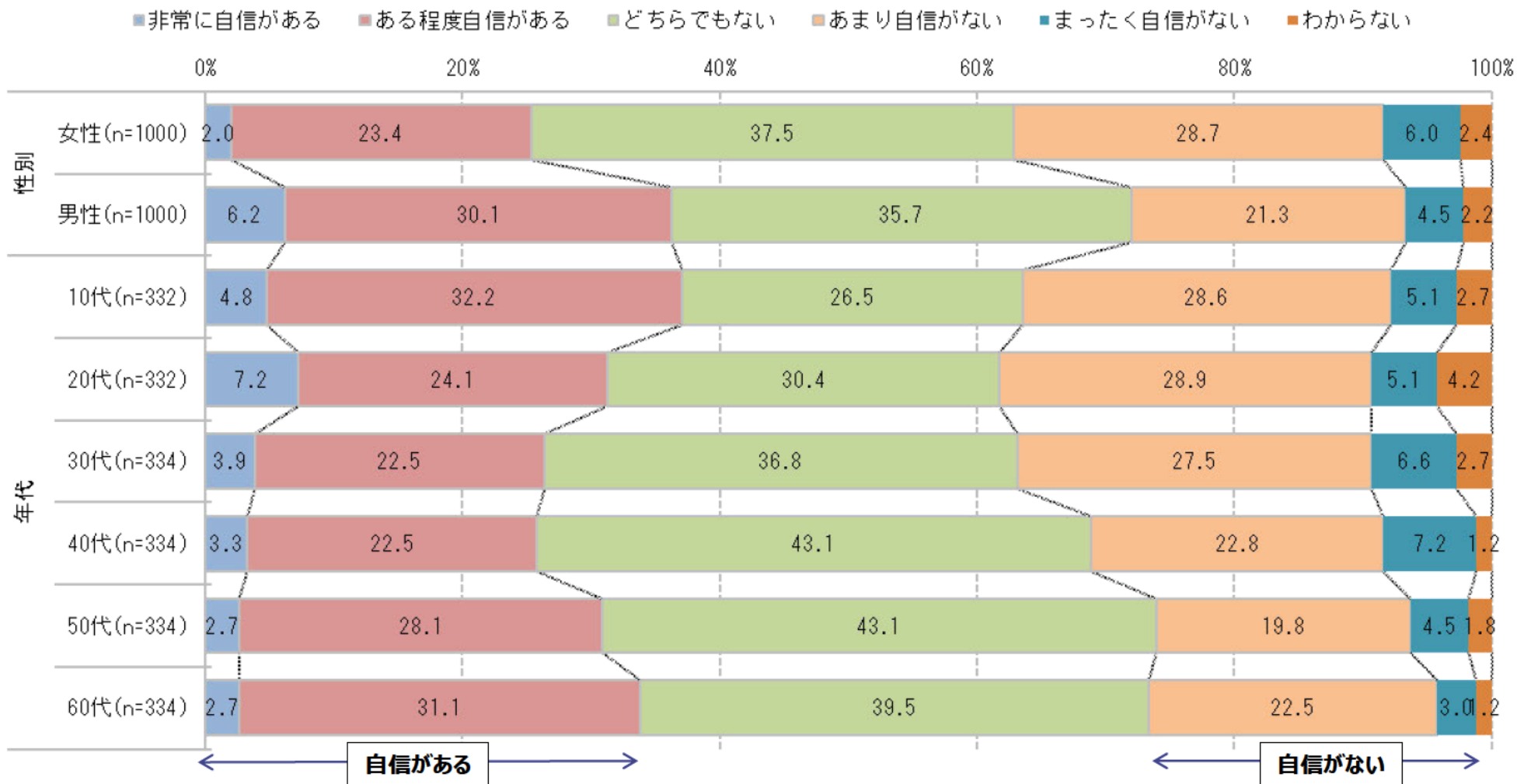
あなたは、情報の真偽を見分ける自信はありますか。それぞれあてはまるものをお知らせください。

□ 「自信がある」に着目すると、日本が対象国中最も低くなった。



あなたは、情報の真偽を見分ける自信はありますか。それぞれあてはまるものをお知らせください。

□ 日本において年代別にみると、「20-40代」では、「自信がない」が「自信がある」を上回った。逆に「自信がある」が高かったのは「10代」、「50代」、「60代」であった。



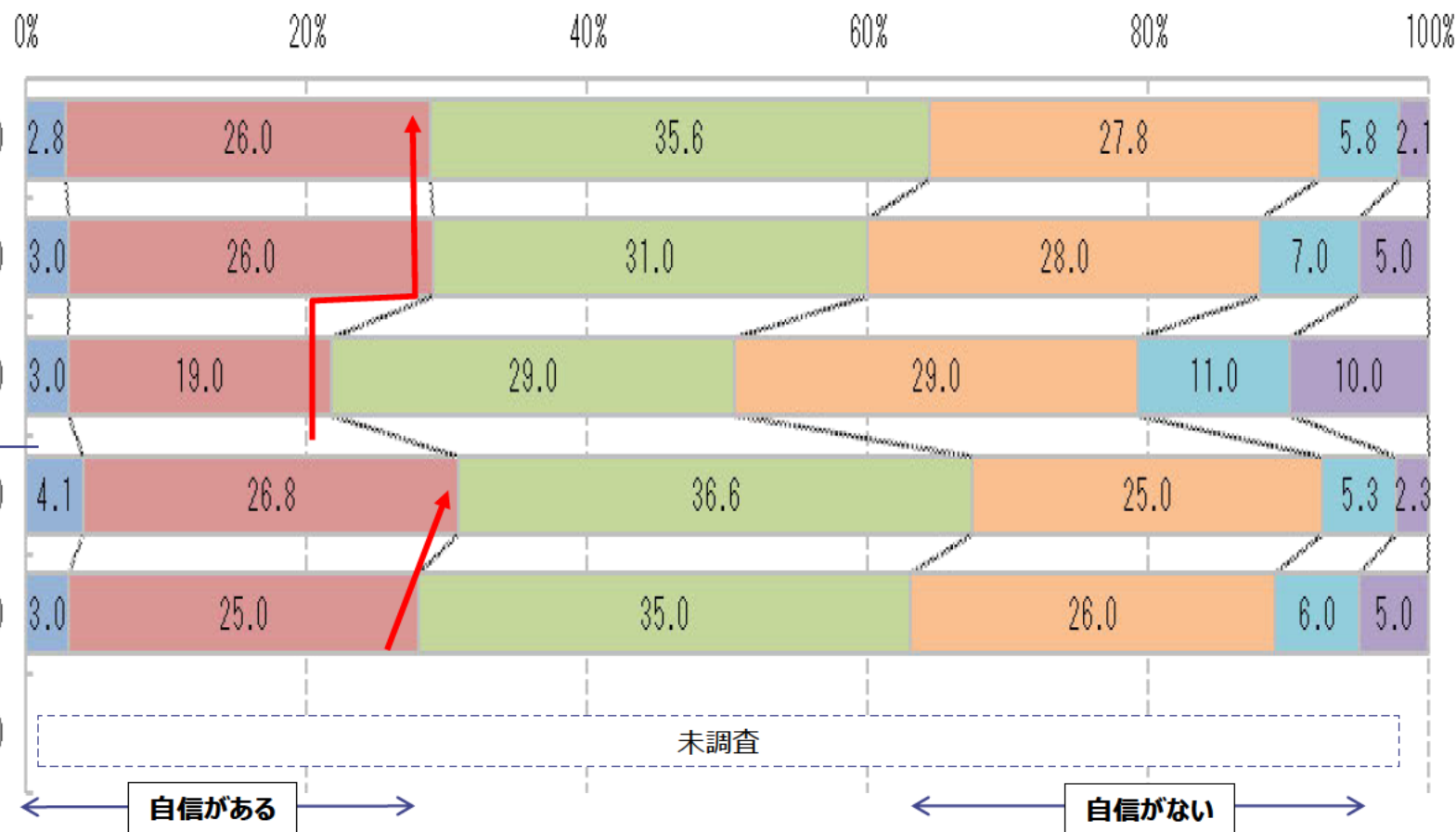
あなたは、情報の真偽を見分ける自信はありますか。それぞれあてはまるものをお知らせください

□ 日本において、「インターネットやメディアで流れる情報全般」及び、「新型コロナウイルス関連の情報」に対して「自信がある」のは約3割となった。2021年度3月調査と比較してほとんど変化はなかった。

■非常に自信がある ■ある程度自信がある ■どちらでもない ■あまり自信がない ■まったく自信がない ■わからない

インターネットやメディアで流れる情報全般

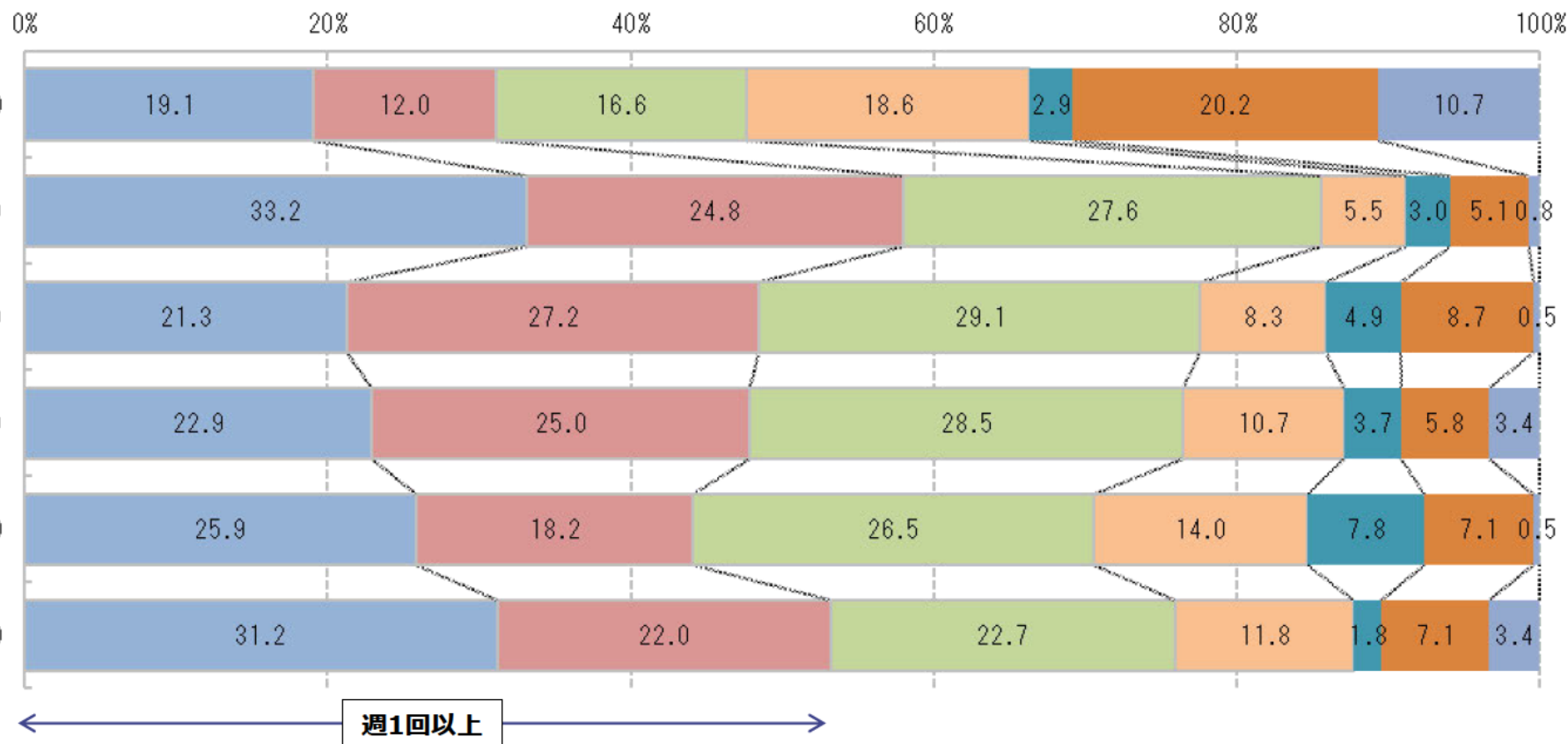
新型コロナウイルス関連の情報



直近の1ヶ月の間で、あなたは次のメディアの中でどのくらいの頻度でフェイクニュース※を見かけますか。※ここでは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します。

□ 「週1回以上」に着目する。「日本」は約3割台であり、その他の対象国（約4～5割台）と比べて低くなった。

- 毎日、またはほぼ毎日
- 月に数回
- 一度も見たことがない
- そもそも何がフェイクニュースなのかがわからない
- 最低週1回
- ほとんどない
- 頻度はわからない



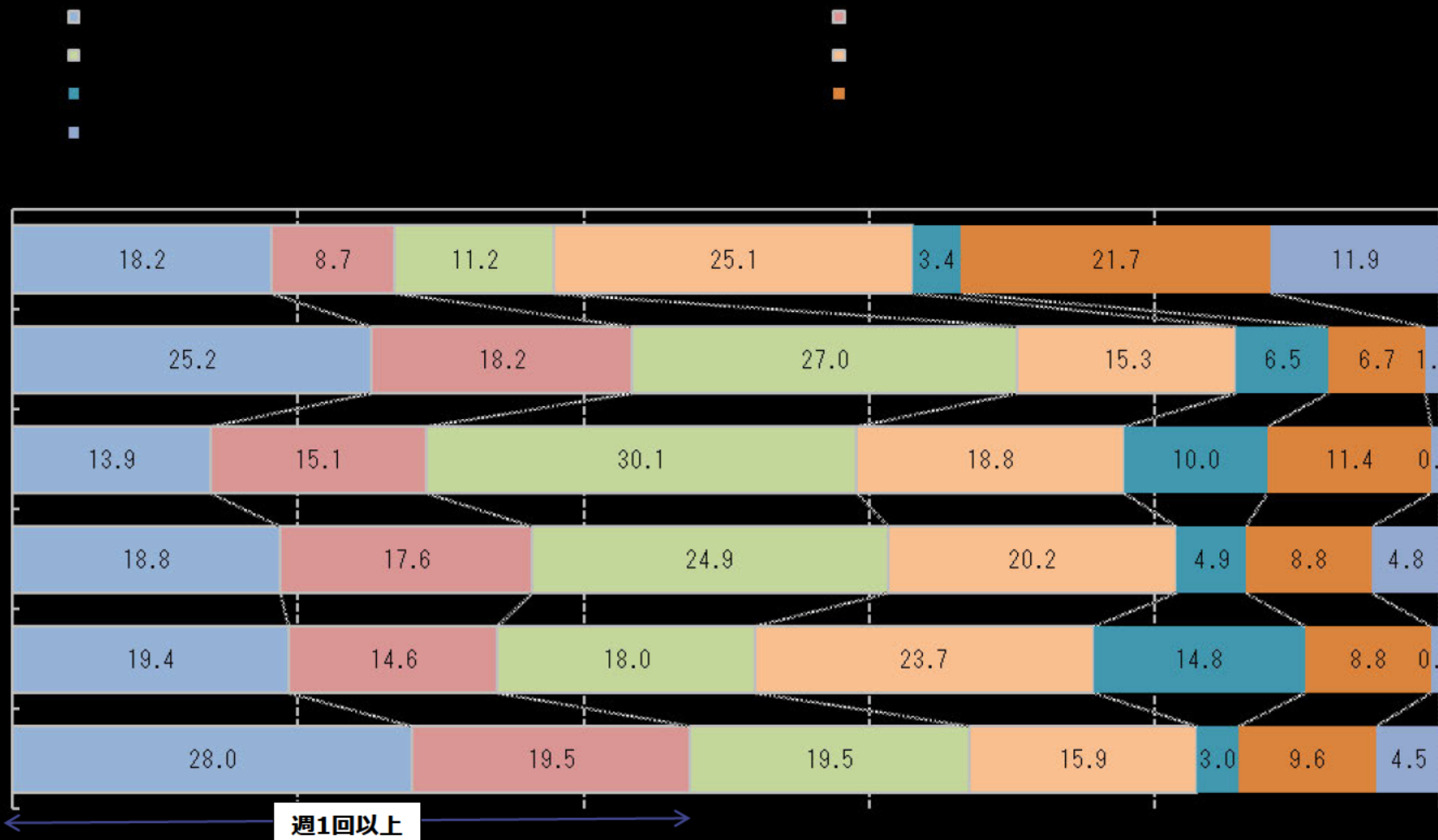
調査結果 (3-2) メディアごとのフェイクニュースを見かける頻度

インターネット以外のメディア
(テレビや新聞など)

国際比較

直近の1ヶ月の間で、あなたは次のメディアの中でどのくらいの頻度でフェイクニュース※を見かけますか。※ここでは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します

□「週1回以上」に着目すると、日本、イギリス、ドイツ(約3割台)となり、アメリカ、フランス、韓国(約4~5割台)と比べて低かった。



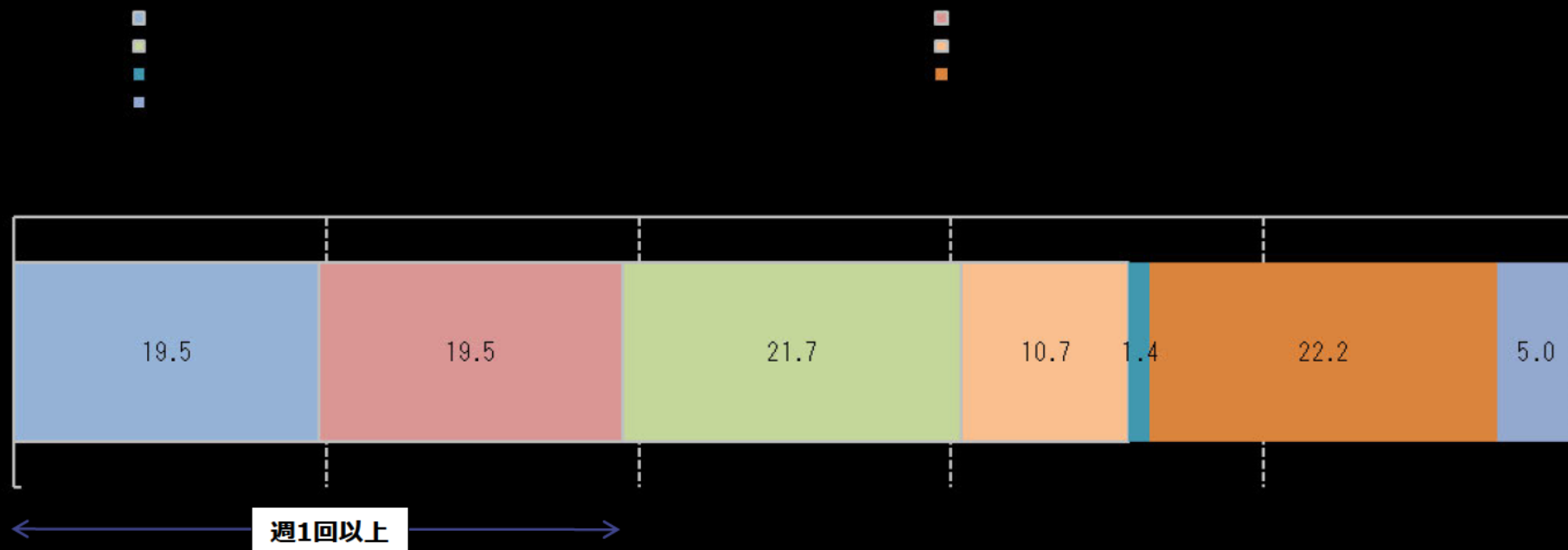
調査結果 (3-3) メディアごとのフェイクニュースを見かける頻度

まとめサイト (例: 2ちゃんねる・5ちゃんねるまとめブログ、●●速報など)

日本のみ

直近の1ヶ月の間で、あなたは次のメディアの中でどのくらいの頻度でフェイクニュース※を見かけますか。※ここでは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します。

□ 「週1回以上」に着目すると、約4割となった。



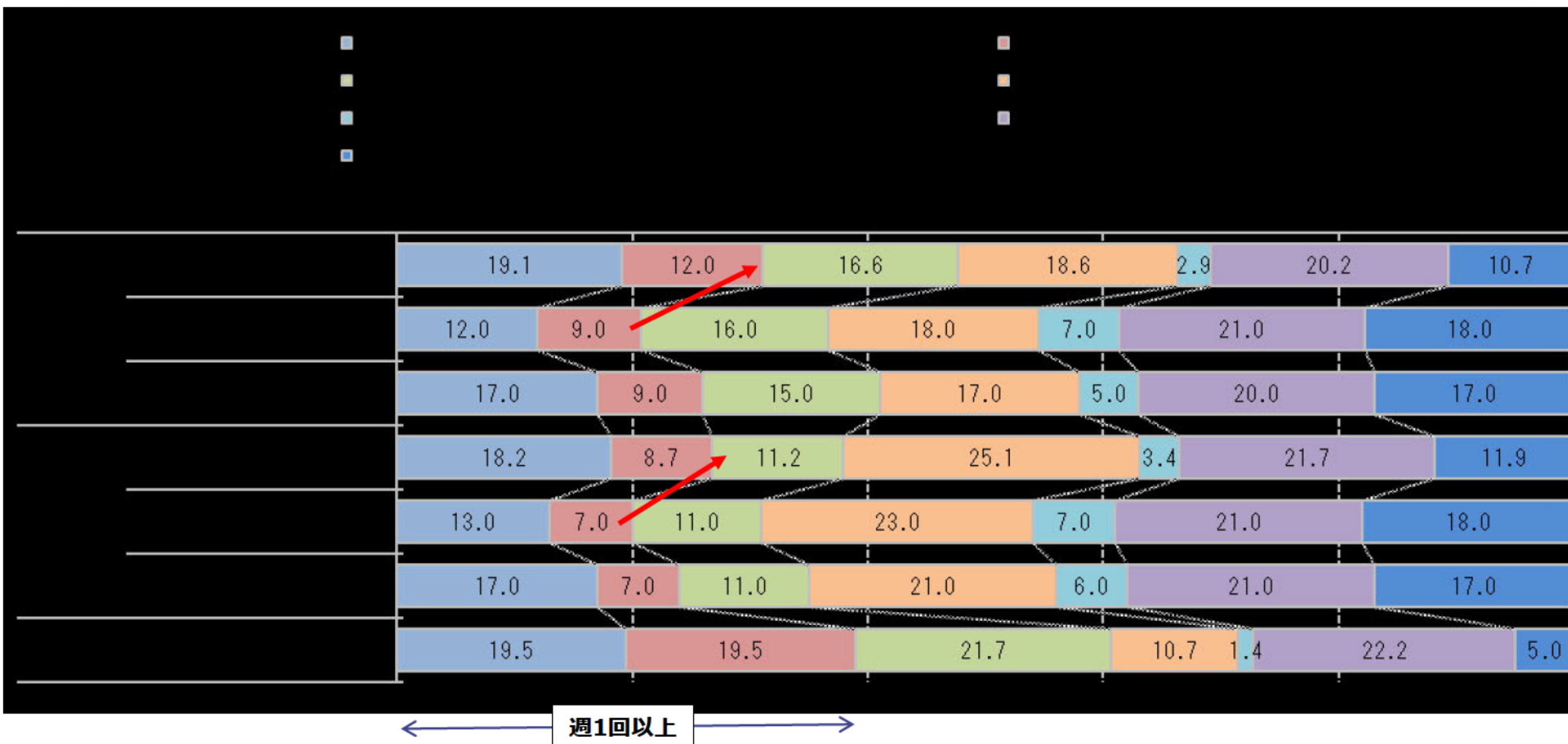
※まとめサイト：掲示板の書き込みやネット上の発言を、ある特定のテーマや切り口でまとめ、編集・共有・公開するものを指します。

調査結果（3-4）メディアごとのフェイクニュースを見かける頻度

日本（時系列比較）

直近の1ヶ月の間で、あなたは次のメディアの中でどのくらいの頻度でフェイクニュース※を見かけますか。※ここでは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します。

□「週1回以上」に着目する。2022年2月調査と2021年3月調査と比較すると「インターネット上のメディア（SNSやブログなど）」は10.1ポイント増となり、「インターネット以外のメディア（テレビや新聞など）」は6.9ポイント増となった。



※まとめサイト：掲示板の書き込みやネット上の発言を、ある特定のテーマや切り口でまとめ、編集・共有・公開するものを指します。

調査結果（4-1）見たことのあるフェイクニュースのジャンル

国際比較

直近の1ヶ月の間でフェイクニュース※を見かけたことがある方に伺います。直近の1ヶ月の間で、あなたはどのようなジャンルのフェイクニュースをみたことがありますか。※ここでは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します。

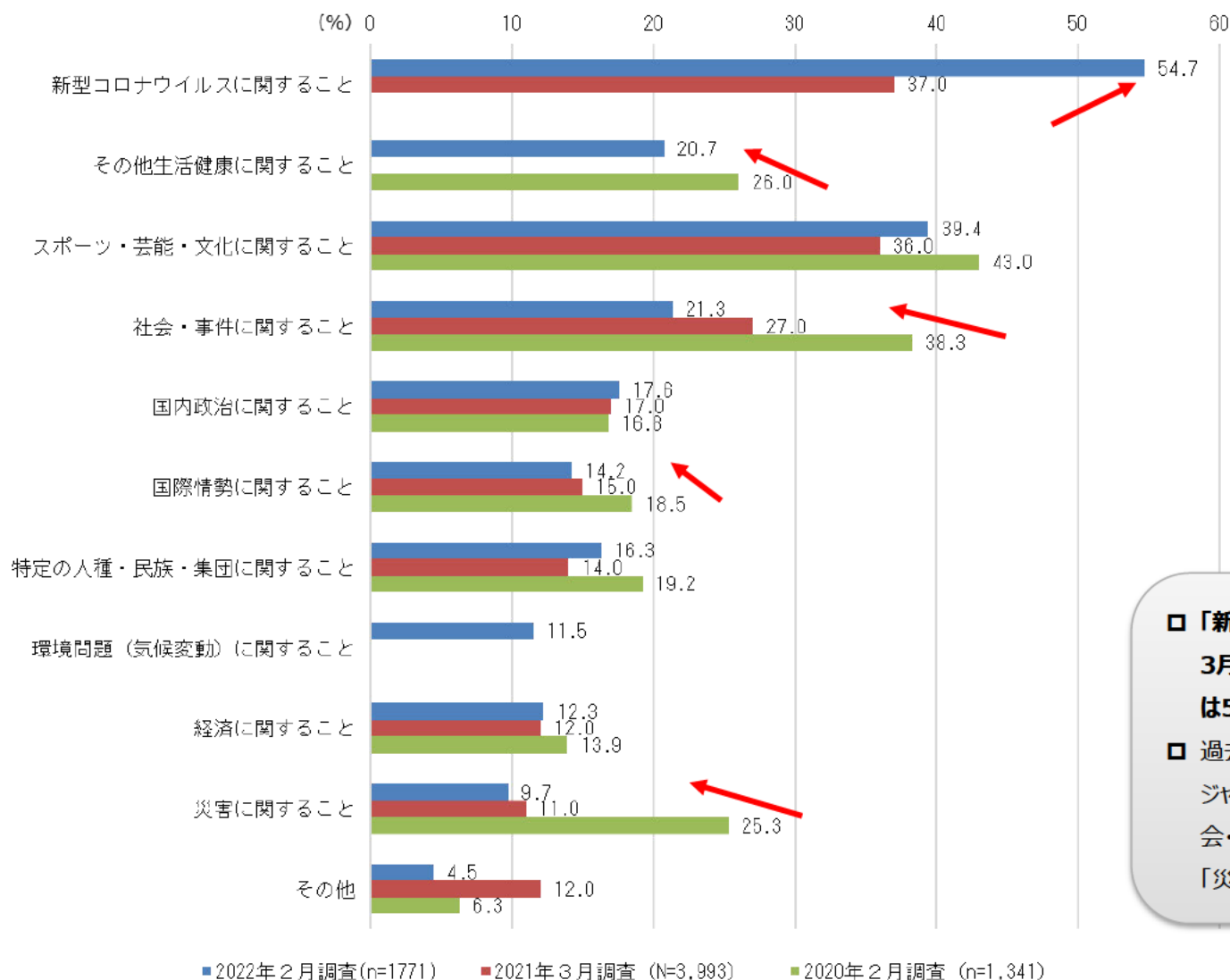
- 日本における上位3つをみると「新型コロナウイルスに関すること」、「スポーツ・芸能・文化に関すること」、「社会・事件に関すること」であった。
- 日本が諸外国よりも高くなった選択肢に注目する。「スポーツ・芸能・文化に関すること」は、日本が最も高くなり、2位の韓国よりも12ポイント高くなった。逆に日本が諸外国と比較して低くなった項目に注目すると、差が大きかったのは「国内政治に関すること」は対象国で最も低く、1番高い韓国よりも44.7ポイント低くなった。

	全体	新型コロナ ウイルスに 関すること	その他生 活健康に 関すること	スポー ツ・芸 能・文化 に 関すること	社会・事 件に 関すること	国内政治 に 関すること	国際情勢 に 関すること	特定の 人種・民 族・集 団に 関すること	環境問題 （気候 変動）に 関すること	経済に 関すること	災害に 関すること	その他
日本	(1771)	54.7	20.7	39.4	21.3	17.6	14.2	16.3	11.5	12.3	9.7	4.5
アメリカ	(971)	69.6	29.4	24.7	37.8	42.3	31.5	31.2	34.4	41.8	14.7	2.6
イギリス	(965)	69.2	26.8	22.1	30.3	31.4	25.6	18.3	22.7	23.2	10.2	3.9
フランス	(947)	63.8	26.8	19.6	27.5	33.4	26.1	15.8	24.3	23.7	9.3	4.0
ドイツ	(937)	77.3	27.6	15.9	31.4	35.1	34.0	18.8	34.4	18.5	13.8	2.9
韓国	(960)	58.6	24.7	27.6	33.1	62.3	16.8	15.8	13.9	25.0	6.6	2.2

調査結果（4-2）見たことのあるフェイクニュースのジャンル

日本（時系列比較）

直近の1ヶ月の間でフェイクニュース※を見かけたことがある方に伺います。直近の1ヶ月の間で、あなたはどのようなジャンルのフェイクニュースをみたことがありますか。※ここでは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します。



- 「新型コロナウイルスに関すること」は、2021年3月調査の37.0%から、2022年2月調査では54.7%となり、17.7ポイント増となった。
- 過去3回分の調査結果から、減少傾向を示したジャンルは「その他生活健康に関すること」、「社会・事件に関すること」、「国際情勢に関すること」、「災害に関すること」であった。

直近の1ヶ月の間でフェイクニュースを見かけたことがある方に伺います。直近の1ヶ月の間で、フェイクニュース※に接することが多いと思う情報源をあげてください。あてはまるものをすべてお選びください。※ここでは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します。

- 日本における上位3つをみると「ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)」、「テレビ」、「ポータルサイトやソーシャルメディアによるニュース配信」が高かった。
- 日本が諸外国よりも高くなった選択肢に注目すると、「まとめサイト」は「日本」が最も高く、2番目の韓国よりも10ポイント以上高くなった。逆に日本は諸外国と比較して低くなったのは、「友人や家族からの情報」、「SNS上の有名人やインフルエンサー」、「マスメディア上の有名人の意見」をフェイクニュースの情報源であった。日本はそれぞれ約1割以下で、諸外国では約1~2割であった。

	全体	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	書籍	ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)	メッセージングサービス	ポータルサイトやソーシャルメディアによるニュース配信	ポータルサイトやソーシャルメディアによるニュース配信記事へのコメント欄	ニュース系キュレーションメディア	まとめサイト	ニュース系以外のキュレーションメディア	専門情報サイト	動画投稿・共有サービス	友人や家族からの情報	SNS上の有名人やインフルエンサー	マスメディア上の有名人の意見	特になし
日本	(1771)	26.7	3.3	6.8	5.8	2.0	58.5	11.8	25.0	20.7	8.9	24.3	1.8	4.2	20.6	6.9	9.0	6.5	9.1
アメリカ	(971)	51.3	18.7	18.3	11.7	6.3	77.4	23.0	26.3	23.6	12.8	10.8	5.5	10.8	33.5	19.9	20.4	18.3	3.9
イギリス	(965)	26.5	9.7	23.1	9.7	4.2	75.9	23.2	16.6	18.2	6.2	6.1	3.5	6.0	25.3	16.2	15.6	12.3	6.1
フランス	(947)	43.7	15.3	18.0	10.5	4.8	71.6	20.0	19.6	15.4	4.6	3.5	2.5	7.5	23.3	17.0	16.2	7.2	4.2
ドイツ	(937)	37.1	17.2	20.0	12.5	6.1	70.8	31.9	20.7	19.0	7.2	7.0	3.1	9.1	28.0	17.6	14.4	12.4	5.2
韓国	(960)	32.5	5.2	13.1	4.9	2.6	69.4	23.8	40.4	38.0	8.4	11.8	4.3	7.4	51.1	13.8	18.1	10.8	2.9

あなたは、誰がフェイクニュースの対策に取り組むべきだと思いますか。あてはまるものをすべてお知らせください。※フェイクニュースとは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します。

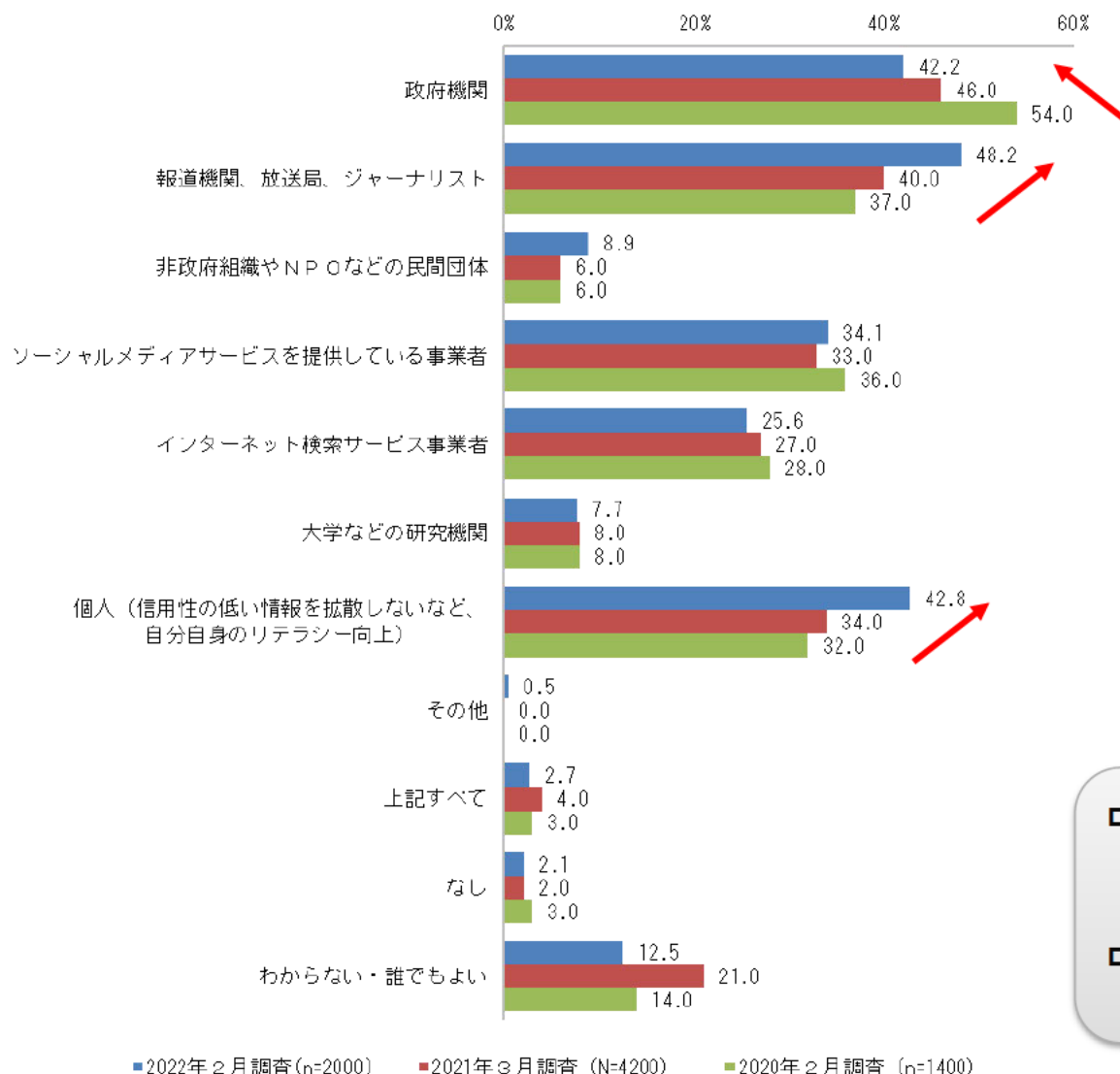
- 日本における上位3つをみると「報道機関、放送局、ジャーナリスト」、「政府機関」、「個人（信用性の低い情報を拡散しないなど、自分自身のリテラシー向上）」であった。なお、日本は、対象国と比較して「わからない・誰でもよい」（12.5%）の割合が高い。
- 「アメリカ」、「イギリス」、「フランス」では「報道機関、放送局、ジャーナリスト」が最も高くなった。「ドイツ」では「ソーシャルメディアサービスを提供している事業者」となり、「韓国」では「政府機関」となった。

	全体	政府機関	報道機関、放送局、ジャーナリスト	非政府組織やNPOなどの民間団体	ソーシャルメディアサービスを提供している事業者	インターネット検索サービス事業者	大学などの研究機関	個人（信用性の低い情報を拡散しないなど、自分自身のリテラシー向上）	その他	上記すべて	なし	わからない・誰でもよい
日本	(2000)	42.2	48.2	8.9	34.1	25.6	7.7	42.8	0.5	2.7	2.1	12.5
アメリカ	(1000)	40.2	53.9	21.7	40.5	39.5	22.6	48.5	0.6	5.1	2.5	3.6
イギリス	(1000)	53.7	60.4	16.9	45.3	42.6	17.4	44.3	0.6	3.7	1.0	4.0
フランス	(1000)	46.3	51.3	14.0	48.4	31.1	12.3	41.3	0.5	1.6	1.8	3.8
ドイツ	(1000)	52.6	45.6	17.4	53.9	40.1	20.1	36.5	0.5	3.2	1.7	3.6
韓国	(1000)	61.6	61.1	10.7	36.8	27.6	8.5	25.2	0.2	3.2	1.3	2.7

調査結果 (6-2) フェイクニュース対策に取り組むべき主体

日本 (時系列比較)

あなたは、誰がフェイクニュースの対策に取り組むべきだと思いますか。あてはまるものをすべてお知らせください。※フェイクニュースとは、虚偽又は誤解を招くと考えられる情報/ニュースを指します。



- 上昇傾向を示した項目に着目すると、「報道機関、放送局、ジャーナリスト」、「個人 (信用性の低い情報を拡散しないなど、自分自身のリテラシー向上) 」であった。
- 逆に、下降傾向を示した項目に着目すると、「政府機関」であった。

直近の1ヶ月の間で、どのような方法で新型コロナウイルスに関する情報を見たり聞いたりしましたか。

- 日本における上位3つをみると「民間放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」、「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」、「Yahoo! ニュース」であった。
- 諸外国についてみるとアメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、韓国では「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」が最も高くなった。
- なお、日本や韓国は、対象国と比べて「世界保健機関（WHO）や専門機関のウェブサイトや情報発信」を回答した割合が低くなった。

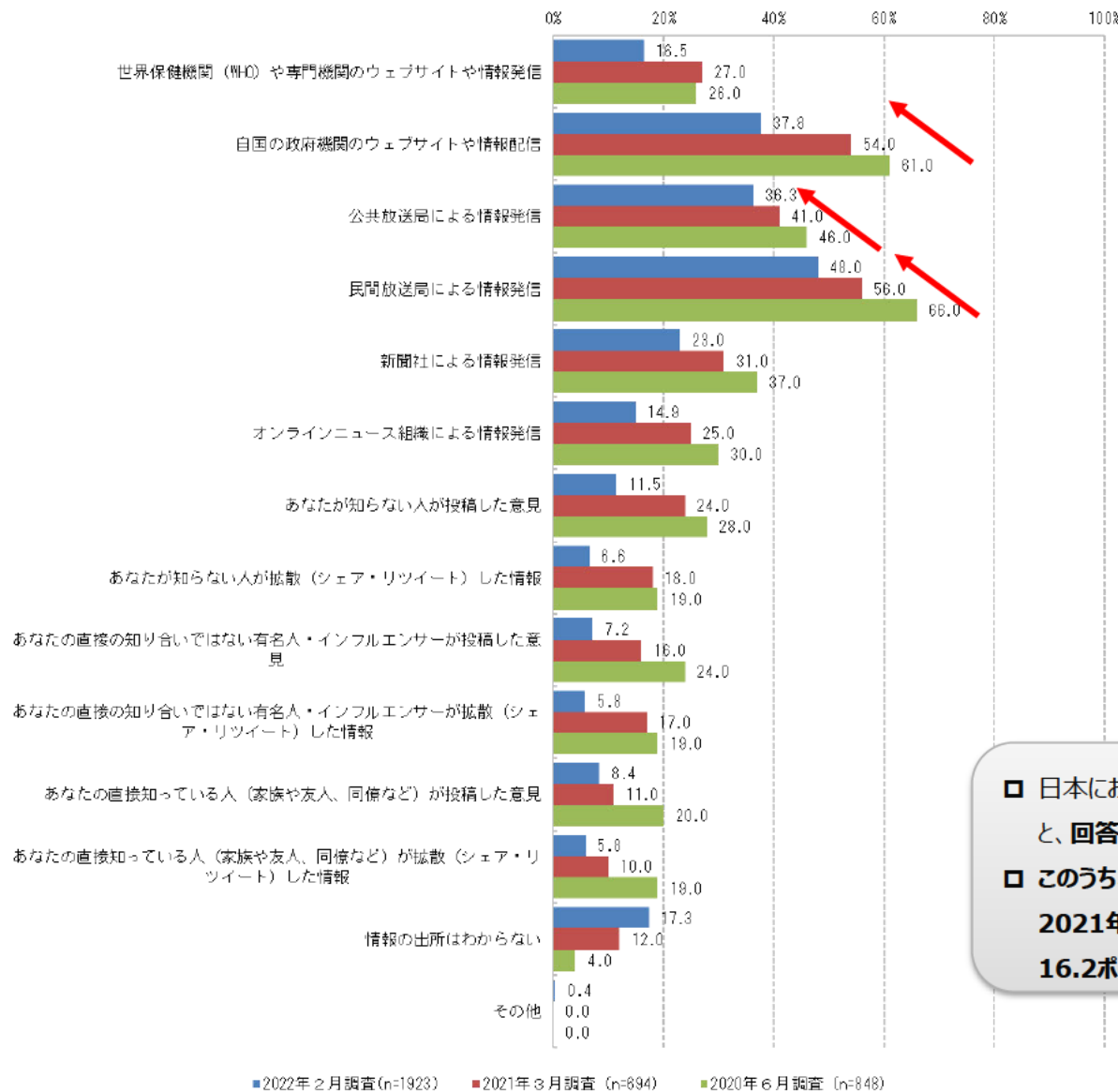
	全体	世界保健機関 (WHO) や専門機関のウェブサイトや情報発信	自国の政府機関のウェブサイトや情報発信	公共放送局 (テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど)	民間放送局 (テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど)	新聞 (紙面・ウェブサイトなど)	オンラインニュース組織のウェブサイト/アプリ	Yahoo! ニュース	LINE NEWS	Google News	Apple News	MSN	その他のニュース系アプリ・サイト	Facebook	Twitter	Instagram	LINE (タイムライン・グループチャット)
日本	(1954)	8.8	24.5	53.4	57.7	26.0	15.1	48.4	23.5	10.6	1.3	1.7	12.7	4.0	22.1	7.0	6.8
アメリカ	(967)	32.2	43.6	52.5	45.9	28.2	27.0	20.7	5.3	32.9	12.5	10.8	6.0	41.2	18.6	23.8	2.7
イギリス	(966)	27.1	49.1	61.6	45.0	41.5	25.6	8.2	4.6	22.8	9.8	5.3	3.8	38.6	20.5	21.8	1.9
フランス	(964)	28.4	37.9	52.8	39.8	36.4	18.0	9.5	3.4	31.7	4.8	4.3	3.7	38.4	16.7	19.6	3.0
ドイツ	(979)	31.9	42.9	67.4	47.3	40.3	24.7	5.4	3.0	30.3	6.3	3.8	9.0	31.7	11.6	25.8	2.1
韓国	(974)	13.6	43.6	58.0	35.9	18.5	15.8	1.8	1.3	12.7	1.7	3.3	29.5	17.2	10.0	19.5	1.0
	全体	WhatsAppグループ	その他のSNS	YouTube	その他の動画系アプリ・サイト (YouTube以外)	Yahoo! 知恵袋	Google検索	Yahoo! 検索	その他の検索サービス (Google検索や、Yahoo! 検索以外)	その他のブログやまとめサイト	SNSなどでの、あなたの直接の知り合いではない有名人・インフルエンサーの意見	マスメディア上での、あなたの直接の知り合いではない有名人の意見	SNSなどでの、あなたが知らない人の意見	家族や友人、同僚などとの直接の会話・電話・メール	家族や友人、同僚などとのメッセージングサービス	その他	該当するものはない
日本	(1954)	0.4	1.6	12.0	1.2	2.7	9.6	7.7	2.5	2.3	4.5	4.0	3.5	21.5	8.7	0.7	1.6
アメリカ	(967)	5.4	14.7	29.4	5.0	2.5	24.0	8.5	6.1	4.1	15.0	13.2	13.7	23.5	17.0	0.4	0.9
イギリス	(966)	7.6	9.5	17.7	2.2	1.2	17.9	3.4	3.1	2.1	9.0	7.7	9.8	25.8	20.5	0.4	0.9
フランス	(964)	7.5	7.6	20.9	3.2	1.9	19.2	3.0	3.0	2.6	8.4	9.3	9.9	15.6	12.1	1.5	1.3
ドイツ	(979)	9.3	12.0	24.7	3.9	1.5	21.5	3.0	3.6	3.4	13.4	14.1	13.8	23.1	17.6	0.8	1.4
韓国	(974)	0.7	6.7	41.2	2.2	0.5	11.7	0.4	7.3	4.4	6.8	4.4	5.3	21.1	13.7	0.7	0.6

前問で、直近の1ヶ月の間で、SNSや検索エンジンなどで新型コロナウイルスに関する情報を見たり聞いたりした方にお伺いします。それらの情報の出所・情報源としてあてはまるものをすべてお知らせください。

- 日本における上位3つをみると「民間放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」、「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」、「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」であった。
- アメリカ、イギリス、フランス、韓国では「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」、ドイツでは「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」が最も高くなった。
- 日本は、諸外国と比べて「民間放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」の回答割合が特に高く、逆に「世界保健機関（WHO）や専門機関のウェブサイトや情報発信」が低い。

	全体	世界保健機関 (WHO) や専門機関のウェブサイトや情報発信	自国の政府機関のウェブサイトや情報配信	公共放送局による情報発信	民間放送局による情報発信	新聞社による情報発信	オンラインニュース組織による情報発信	あなたが知らない人が投稿した意見	あなたが知らない人が拡散（シェア・リツイート）した情報	あなたの直接の知り合いではない有名人・インフルエンサーが投稿した意見	あなたの直接の知り合いではない有名人・インフルエンサーが拡散（シェア・リツイート）した情報	あなたの直接知っている人（家族や友人、同僚など）が投稿した意見	あなたの直接知っている人（家族や友人、同僚など）が拡散（シェア・リツイート）した情報	情報の出所はわからない	その他
日本	(1923)	16.5	37.8	36.3	48.0	23.0	14.9	11.5	6.6	7.2	5.8	8.4	5.8	17.3	0.4
アメリカ	(958)	32.7	44.3	36.2	31.0	22.7	27.6	24.9	16.2	23.7	22.8	26.3	25.6	7.8	0.5
イギリス	(957)	27.1	48.7	36.5	29.8	29.6	16.9	22.9	11.6	16.7	12.7	27.1	23.9	9.4	0.9
フランス	(951)	26.2	37.7	33.1	22.8	30.0	14.0	19.7	12.1	14.6	15.5	24.5	21.9	10.4	1.1
ドイツ	(965)	33.2	40.3	45.3	32.2	26.6	16.2	25.8	15.1	21.3	16.2	30.6	22.6	6.2	0.5
韓国	(968)	22.8	55.6	47.3	30.0	25.0	17.4	16.7	10.0	12.1	11.7	18.8	17.9	6.6	0.4

前問で、直近の1ヶ月の間で、SNSや検索エンジンなどで新型コロナウイルスに関する情報を見たり聞いたりした方にお伺いします。それらの情報の出所・情報源としてあてはまるものをすべてお知らせください。



□ 日本における上位3つの過去調査との回答傾向を比較すると、回答割合が減少した。
 □ このうち、「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」は2021年3月調査、2022年2月調査を比較すると16.2ポイント減少した。

あなたにとって新型コロナウイルスに関する情報について、特に信用できる情報源やメディア・サービスをすべてお知らせください。

- 日本の上位3つをみると、「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」、「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」、「民間放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」であった。イギリス、フランス、韓国では「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」が最も高くなり、アメリカでは「世界保健機関（WHO）や専門機関のウェブサイトや情報配信」が、ドイツでは「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」となった。
- 日本は、諸外国と比べて「民間放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」が「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」と同程度に高い。比較対象国では、公共放送局に比べ、民間放送局の回答割合は約1~3割程度低かった。
- また、日本は「該当するものはない」が約2割となり、諸外国の約1割よりも若干高い傾向を示した。

	全体	世界保健機関 (WHO) や専門機関のウェブサイトや情報発信	自国の政府機関のウェブサイトや情報配信	公共放送局 (テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど)	民間放送局 (テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど)	新聞 (紙面・ウェブサイトなど)	オンラインニュース組織のウェブサイト/アプリ	Yahoo! ニュース	LINE NEWS	Google News	Apple News	MSN	その他のニュース系アプリ・サイト	Facebook	Twitter	Instagram	LINE (タイムライン・グループチャット)
日本	(2000)	22.2	38.0	35.7	31.5	18.5	4.2	13.3	4.8	3.5	1.0	0.8	3.4	0.6	3.9	1.3	1.0
アメリカ	(1000)	40.2	39.5	27.3	19.6	17.3	11.4	8.9	4.7	17.5	8.7	6.3	4.0	10.6	6.7	8.3	2.9
イギリス	(1000)	49.3	51.4	36.8	23.2	20.9	9.8	5.1	3.0	11.7	6.0	2.6	1.9	4.3	4.2	3.4	1.4
フランス	(1000)	39.9	42.2	32.5	20.8	22.5	8.7	4.4	3.0	12.4	4.1	2.3	2.4	6.3	4.7	4.3	2.4
ドイツ	(1000)	40.7	44.0	47.2	22.2	23.7	8.4	3.7	2.1	13.3	3.9	3.0	3.9	7.9	3.6	7.6	2.2
韓国	(1000)	39.1	62.3	45.2	19.9	15.4	4.9	1.3	0.8	9.3	1.3	1.1	11.1	3.7	2.0	4.7	0.9

	全体	WhatsApp グループ	その他の SNS	YouTube	その他の動画系アプリ・サイト (YouTube以外)	Yahoo! 知恵袋	Google検索	Yahoo! 検索	その他の検索サービス (Google検索や、Yahoo! 検索以外)	その他のブログやまとめサイト	SNSなどでの、あなたが知らない人の意見	マスメディア上のあなたの直接の知り合いではない有名人の意見	SNSなどでの、あなたの直接の知り合いではない有名人・インフルエンサーの意見	家族や友人、同僚などのメッセージングサービス	家族や友人、同僚などの直接の会話・電話・メール	その他	該当するものはない
日本	(2000)	0.3	0.5	2.5	0.6	1.0	3.7	2.2	0.6	0.3	0.9	1.4	1.6	1.8	4.1	0.9	18.3
アメリカ	(1000)	3.9	4.1	9.8	2.8	2.3	10.5	4.3	3.3	2.3	1.2	4.1	3.6	9.2	8.2	2.2	13.2
イギリス	(1000)	2.7	1.6	5.2	1.6	0.7	6.0	1.9	1.6	0.5	2.0	2.1	3.0	5.3	6.0	1.3	9.5
フランス	(1000)	2.9	2.5	6.4	2.3	1.5	9.7	2.6	1.6	1.3	2.3	3.5	2.2	4.5	5.8	1.2	12.3
ドイツ	(1000)	3.4	3.1	7.1	1.8	0.9	7.6	0.5	2.6	1.6	3.2	3.0	2.9	4.3	8.4	1.3	12.1
韓国	(1000)	0.5	1.7	11.2	0.8	0.3	5.4	0.6	2.2	1.3	1.2	1.5	1.9	3.4	5.2	0.4	6.0

あなたにとって新型コロナウイルスに関する情報について、特に信用できる情報源やメディア・サービスをすべてお知らせください。

- 「女性」、「男性」とも、「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」が最も高くなった。
- 年代別にみると、10代～40代において「自国の政府機関のウェブサイトや情報配信」、50代、60代において「公共放送局（テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど）」が高くなった。

	全体	世界保健機関 (WHO) や専門機関のウェブサイトや情報発信	自国の政府機関のウェブサイトや情報配信	公共放送局 (テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど)	民間放送局 (テレビ・ラジオ・ウェブサイトなど)	新聞 (紙面・ウェブサイトなど)	オンラインニュース組織のウェブサイト/アプリ	Yahoo! ニュース	LINE NEWS	Google News	Apple News	MSN	その他のニュース系アプリ・サイト	Facebook	Twitter	Instagram	LINE (タイムライン・グループチャット)
女性	(1000)	24.5	38.4	36.6	32.3	18.7	3.1	10.9	5.4	2.6	0.4	0.5	2.3	0.6	3.4	1.2	0.7
男性	(1000)	19.9	37.6	34.7	30.6	18.3	5.3	15.7	4.2	4.3	1.5	1.0	4.5	0.5	4.4	1.4	1.2
10代	(332)	33.1	42.8	36.1	29.8	13.9	4.2	9.3	6.9	4.8	2.1	0.9	2.4	0.6	7.8	1.5	0.9
20代	(332)	25.6	36.4	26.5	22.0	10.8	7.2	10.8	8.7	1.5	2.7	0.6	3.6	0.3	4.5	2.1	1.2
30代	(334)	18.6	35.3	28.7	25.4	8.7	2.7	12.9	4.2	3.0	0.3	0.3	3.0	0.6	4.5	1.5	0.3
40代	(334)	18.9	35.3	30.5	32.6	19.8	3.9	16.5	3.3	3.0	0.6	0.9	3.0	0.9	3.6	0.9	0.9
50代	(334)	17.1	38.0	41.0	38.3	25.1	4.5	17.1	3.0	4.8	0.0	0.3	3.9	0.3	2.1	1.2	1.2
60代	(334)	20.1	40.1	50.9	40.4	32.6	2.7	13.2	2.7	3.6	0.0	1.5	4.5	0.6	0.9	0.6	1.2

	全体	WhatsApp グループ	その他の SNS	YouTube	その他の動画系アプリ・サイト (YouTube以外)	Yahoo! 知恵袋	Google検索	Yahoo! 検索	その他の検索サービス (Google検索や、Yahoo!検索以外)	その他のブログやまとめサイト	SNSなどでの、あなたが知らない人の意見	マスメディア上でのあなたの直接の知り合いではない有名人の意見	SNSなどでの、あなたの直接の知り合いではない有名人・インフルエンサーの意見	家族や友人、同僚などとのメッセージングサービス	家族や友人、同僚などとの直接の会話・電話・メール	その他の具体的には：	該当するものはない
女性	(1000)	0.3	0.2	1.1	0.5	0.9	3.3	2.1	0.6	0.4	1.1	1.2	1.3	1.7	5.4	0.8	18.2
男性	(1000)	0.2	0.7	3.9	0.6	1.0	4.1	2.3	0.6	0.1	0.7	1.5	1.8	1.8	2.7	0.9	18.4
10代	(332)	0.3	0.3	2.7	0.3	1.2	5.1	1.5	0.3	0.0	0.6	1.5	1.2	1.5	3.9	0.3	12.0
20代	(332)	0.3	1.2	1.8	1.2	0.9	3.6	1.2	0.6	0.0	0.3	2.4	1.5	2.1	2.4	0.9	22.0
30代	(334)	0.3	0.3	3.0	0.0	0.9	4.8	1.5	0.3	0.0	1.2	1.2	2.1	1.8	4.5	1.2	21.9
40代	(334)	0.3	0.6	2.7	0.6	0.6	2.7	3.0	0.9	0.6	1.8	1.8	1.8	1.5	3.0	1.5	22.8
50代	(334)	0.0	0.3	1.5	0.9	1.5	2.4	3.9	1.2	0.6	1.5	0.6	1.5	1.5	5.7	1.2	15.3
60代	(334)	0.3	0.0	3.3	0.3	0.6	3.6	2.1	0.3	0.3	0.0	0.6	1.2	2.1	4.8	0.0	15.9

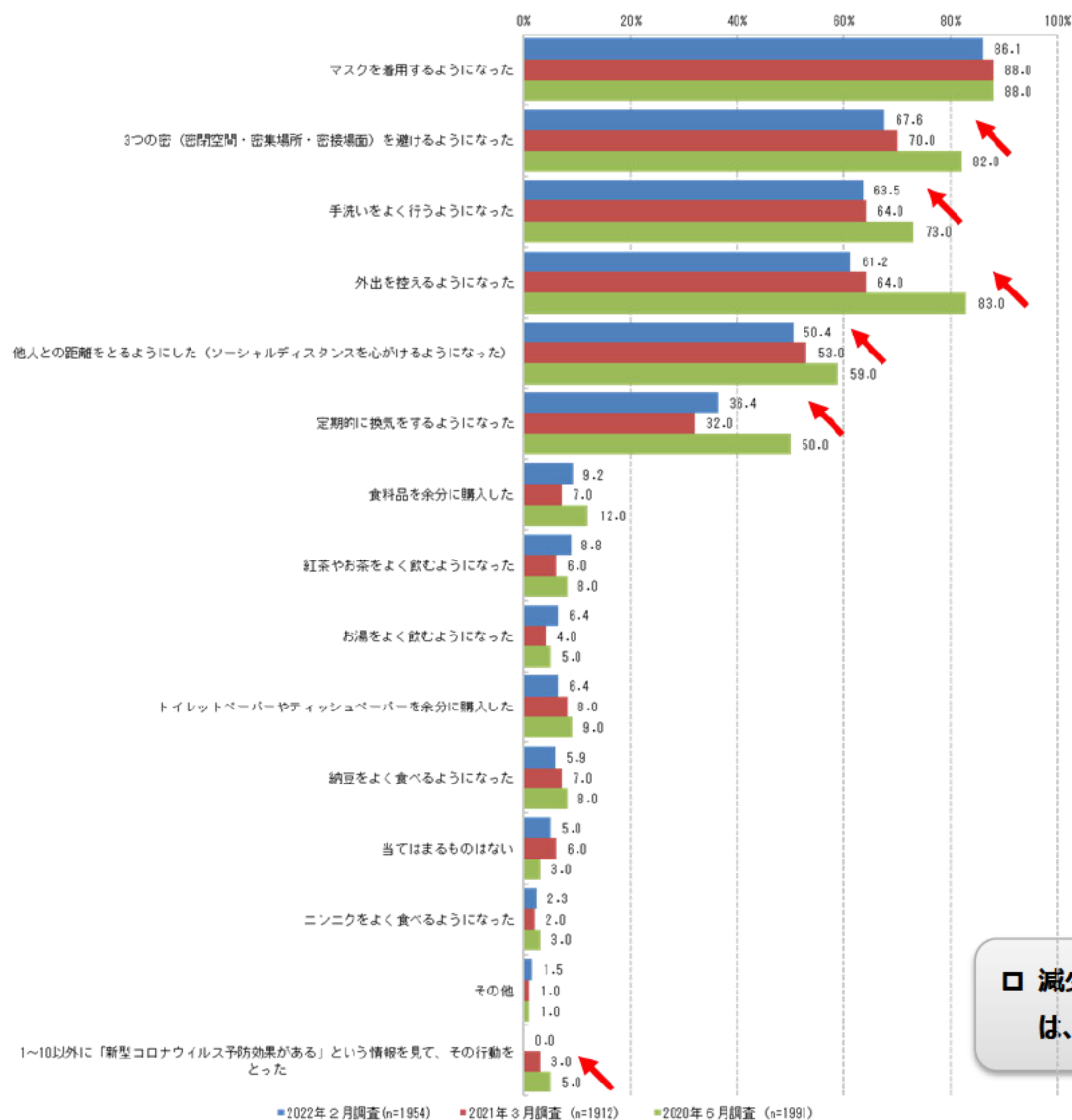
新型コロナウイルスに関する情報を見たり聞いたりしたことにより、あなたはどのような行動をとりましたか。

- 日本の上位3つをみると、「マスクを着用するようになった」、「3つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けるようになった」、「手洗いをよく行うようになった」であった。
- 日本を含めたすべての国において、「マスクを着用するようになった」が最も高くなった。このうち「韓国」（86.2%）、「日本」（86.1%）が特に高くなった。

	全体	マスクを着用するようになった	外出を控えるようになった	3つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けるようになった	定期的に換気をするようになった	他人との距離をとるにした（ソーシャルディスタンスを心がけるようになった）	手洗いをよく行うようになった	お湯をよく飲むようになった	紅茶やお茶をよく飲むようになった
日本	(1954)	86.1	61.2	67.6	36.4	50.4	63.5	6.4	8.8
アメリカ	(967)	59.3	33.9	41.2	19.1	40.7	48.7	10.8	9.9
イギリス	(966)	61.3	32.4	37.8	37.2	44.2	55.4	5.8	3.6
フランス	(964)	56.3	43.8	43.5	34.9	36.3	44.9	4.4	5.3
ドイツ	(979)	59.9	46.8	52.9	35.8	56.2	48.5	5.7	6.2
韓国	(974)	86.2	76.9	58.2	45.0	61.8	72.8	19.8	6.0

	全体	納豆をよく食べるようになった	ニンニクをよく食べるようになった	1~10以外に「新型コロナウイルス予防効果がある」という情報を見て、その行動をとった	トイレトーパーやティッシュペーパーを余分に購入した	食料品を余分に購入した	その他	当てはまるものはない
日本	(1954)	5.9	2.3	0.0	6.4	9.2	1.5	5.0
アメリカ	(967)	5.3	6.1	0.9	14.1	13.5	1.1	16.2
イギリス	(966)	3.6	3.7	0.3	5.6	6.5	0.9	19.5
フランス	(964)	2.0	2.0	1.6	6.1	6.8	1.0	15.1
ドイツ	(979)	1.7	4.9	1.1	9.7	14.7	0.9	10.3
韓国	(974)	1.5	3.1	0.2	5.1	8.4	0.5	1.0

新型コロナウイルスに関する情報を見たり聞いたりしたことにより、あなたはどのような行動をとりましたか。



□ 減少した自身の行動は多い。このうち、最も減少幅が大きかったのは、「外出を控えるようになった」（21.8ポイント減）であった。

新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関して、見たり聞いたりしたことがある情報をすべてお知らせください。また、直近1ヶ月程度において、見たり聞いたりしたことがあるものをすべてお知らせください。

- 日本の上位3つをみると、「上記について見たり聞いたりしたことはない」、「新型コロナウイルスはただの風邪である」、「コロナウイルスワクチンは不妊にする可能性がある」であった。「イギリス」、「フランス」、「ドイツ」、「韓国」は「新型コロナウイルスはただの風邪である」、「アメリカ」は「ビタミンDは新型コロナウイルス予防に効果がある」。
- 「フェイクニュースを見た」（全体から「上記について見たり聞いたりしたことはない」の回答を除いた割合）をみると、日本は約6割で対象国は7~8割であった。

	全体	新型コロナウイルスは熱に弱く、お湯を飲むと予防に効果がある	お茶・紅茶を飲むと新型コロナウイルス予防に効果がある	こまめに水を飲むと新型コロナウイルス予防に効果がある	納豆を食べると新型コロナウイルス予防に効果がある	ニンニクを食べると新型コロナウイルス予防に効果がある	ビタミンDは新型コロナウイルス予防に効果がある	花こう岩などの石はウイルスの分解に即効性がある	漂白剤を飲むと新型コロナウイルス予防に効果がある	新型コロナウイルスは5Gテクノロジーによって活性化される
日本	(2000)	13.0	16.5	13.5	9.9	4.5	5.5	1.9	2.8	5.5
アメリカ	(1000)	19.6	14.8	20.3	9.5	10.4	28.2	5.8	11.1	12.2
イギリス	(1000)	12.6	11.7	13.3	5.6	8.8	26.4	2.5	17.9	25.5
フランス	(1000)	18.8	13.7	13.0	6.3	9.8	30.2	3.2	9.0	14.2
ドイツ	(1000)	11.6	9.1	10.3	6.2	9.3	22.0	3.6	8.6	10.7
韓国	(1000)	21.0	7.8	29.2	6.9	14.8	16.9	1.4	2.6	5.9

	全体	新型コロナウイルスはただの風邪である	そもそも新型コロナウイルスは存在しない	コロナウイルスワクチンを接種した人が変異株に感染すると重症化しやすい（抗体依存性感染増強（ADE）になりやすい）	コロナウイルスワクチンはヒトのDNAを変化させる	コロナウイルスワクチンは、追跡可能なマイクロチップを人間に埋め込む計画を後押しする	コロナウイルスワクチンは不妊にする可能性がある	コロナウイルスワクチンには動物性の成分が含まれている	コロナウイルスワクチンは動物実験に合格しなかった	上記について見たり聞いたりしたことはない
日本	(2000)	34.5	14.4	8.0	11.5	11.4	23.5	2.7	3.5	38.2
アメリカ	(1000)	24.9	22.9	15.8	21.3	25.3	22.9	9.1	7.7	22.0
イギリス	(1000)	33.4	30.7	12.0	21.3	26.7	24.9	12.5	9.5	26.3
フランス	(1000)	33.7	14.9	13.9	22.9	17.8	24.1	5.3	6.7	22.3
ドイツ	(1000)	36.2	31.9	15.9	30.0	24.2	30.9	7.4	7.6	25.9
韓国	(1000)	36.1	9.2	11.2	16.7	16.4	14.6	4.7	5.8	23.0

調査結果（11-2）新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関して得た情報

これまでに見たり聞いたりしたことがある情報

日本
(性別年代別比較)

新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関して、見たり聞いたりしたことがある情報をすべてお知らせください。また、直近1ヶ月程度において、見たり聞いたりしたことがあるものをすべてお知らせください。

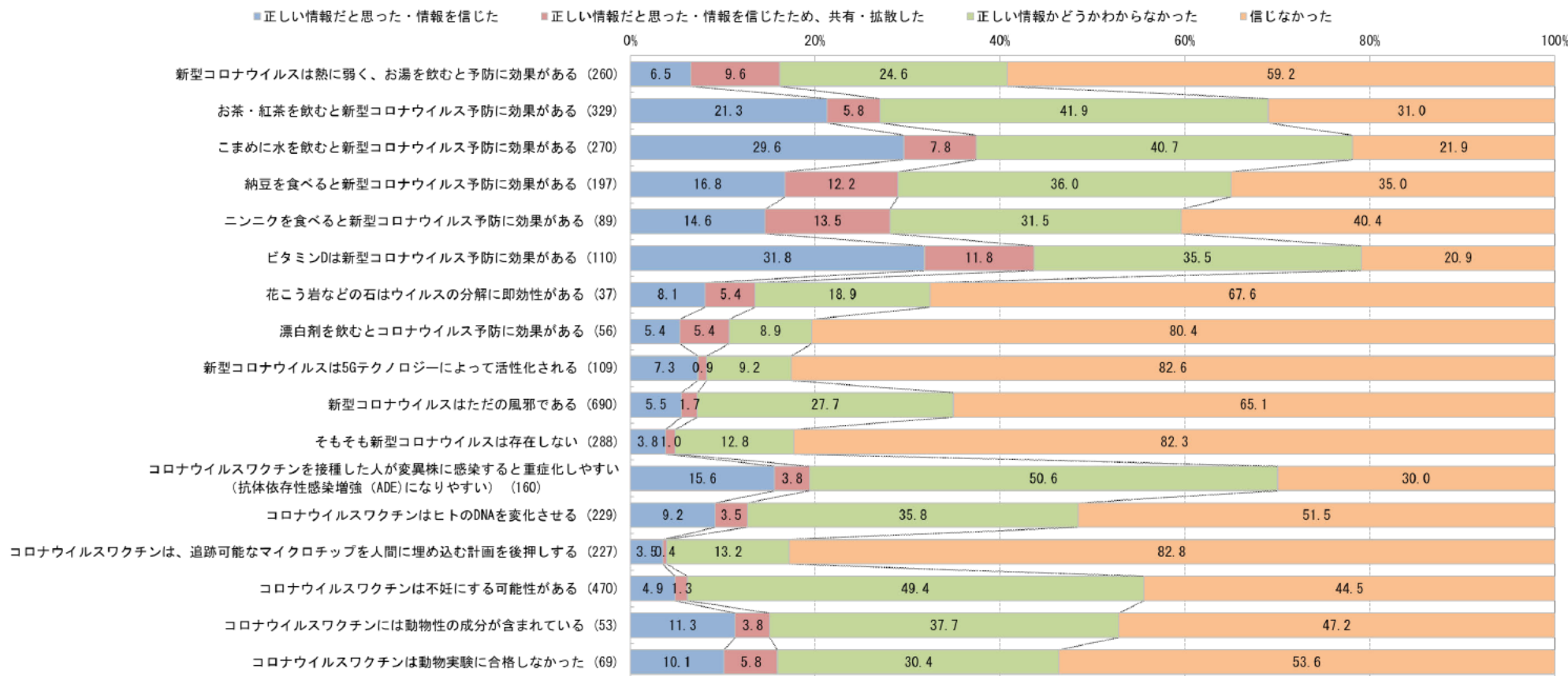
- 年代別にみると、20代、40～60代で「上記について見たり聞いたりしたことはない」、10代、30代では「新型コロナウイルスはただの風邪である」が最も高くなった。

	全体	新型コロナウイルスは熱に弱く、お湯を飲むと予防に効果がある	お茶・紅茶を飲むと新型コロナウイルス予防に効果がある	こまめに水を飲むと新型コロナウイルス予防に効果がある	納豆を食べると新型コロナウイルス予防に効果がある	ニンニクを食べると新型コロナウイルス予防に効果がある	ビタミンDは新型コロナウイルス予防に効果がある	花こう岩などの石はウイルスの分解に即効性がある	漂白剤を飲むとコロナウイルス予防に効果がある	新型コロナウイルスは5Gテクノロジーによって活性化される
女性	(1000)	11.8	16.7	14.8	10.2	3.2	5.8	1.4	2.2	4.6
男性	(1000)	14.2	16.2	12.2	9.5	5.7	5.2	2.3	3.4	6.3
10代	(332)	16.3	18.1	17.5	7.8	4.8	5.7	3.6	2.4	6.6
20代	(332)	12.7	18.1	15.4	11.7	6.9	5.7	2.4	3.0	6.9
30代	(334)	16.8	18.3	17.7	14.7	6.3	6.9	1.5	4.2	8.4
40代	(334)	12.0	17.1	9.3	10.5	3.3	5.1	2.1	2.1	4.2
50代	(334)	8.7	13.5	11.7	7.5	2.4	4.8	1.2	3.3	3.6
60代	(334)	11.7	13.8	9.6	6.9	3.0	4.8	0.3	1.8	3.0

	全体	新型コロナウイルスはただの風邪である	そもそも新型コロナウイルスは存在しない	コロナウイルスワクチンを接種した人が変異株に感染すると重症化しやすい	コロナウイルスワクチンはヒトのDNAを変化させる	コロナウイルスワクチンは、追跡可能なマイクロチップを人間に埋め込む計画を後押しする	コロナウイルスワクチンは不妊にする可能性がある	コロナウイルスワクチンには動物性の成分が含まれている	コロナウイルスワクチンは動物実験に合格しなかった	上記について見たり聞いたりしたことはない
女性	(1000)	35.0	13.4	8.0	12.0	11.1	29.0	2.5	3.5	36.7
男性	(1000)	34.0	15.4	8.0	10.9	11.6	18.0	2.8	3.4	39.6
10代	(332)	38.3	16.0	8.1	10.8	11.4	29.5	3.0	4.5	28.6
20代	(332)	30.1	15.7	8.4	14.5	13.3	26.8	4.2	4.5	34.0
30代	(334)	38.0	16.8	9.0	15.3	12.6	25.1	3.6	4.5	34.7
40代	(334)	36.2	15.3	7.5	8.7	11.1	21.3	1.8	2.4	40.7
50代	(334)	33.5	12.0	9.0	9.3	8.7	20.4	1.8	1.8	44.3
60代	(334)	30.8	10.8	6.0	10.2	11.1	18.0	1.5	3.0	46.4

先程の設問で、新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関する間違っ情報や誤解を招く情報（いわゆるフェイクニュース・デマ）を見たり聞いたりしたことがあると回答した方にお伺いします。先程の設問で見たり聞いたりしたことがあると回答した新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関する間違っ情報や誤解を招く情報について、その情報を初めて見たり聞いたりしたときどのように思いましたか。

- 日本で「正しい情報だと思った」上位3つは、「ビタミンDは新型コロナウイルス予防に効果がある」、「こまめに水を飲むと新型コロナウイルス予防に効果がある」、「納豆を食べると新型コロナウイルス予防に効果がある」であった。
- 全対象国に共通して「お茶・紅茶、水、納豆、ビタミンDなどの飲食物を取得すると新型コロナ予防に効果がある」が、「正しい情報だと思った」の割合が高かった。



← 正しい情報だと思った →

先程の設問で、新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関する間違っただ情報や誤解を招く情報について「正しい情報だと思った・情報を信じたため、共有・拡散した」と回答した方にお伺いします。その情報をどのように他の人と共有・拡散したことがありますか。あてはまるものをすべてお知らせください

- 全ての対象国において、身近な人等に対して、直接会ったり、メッセージアプリを通じた情報の共有方法が高くなった。
- なお、日本は諸外国と比べて「正しい情報だと思った・情報を信じたため、共有・拡散した」と回答した人が少ない。日本は回答者が4.75%（95/2,000名）であり、他国は15.5～26.0%であった。

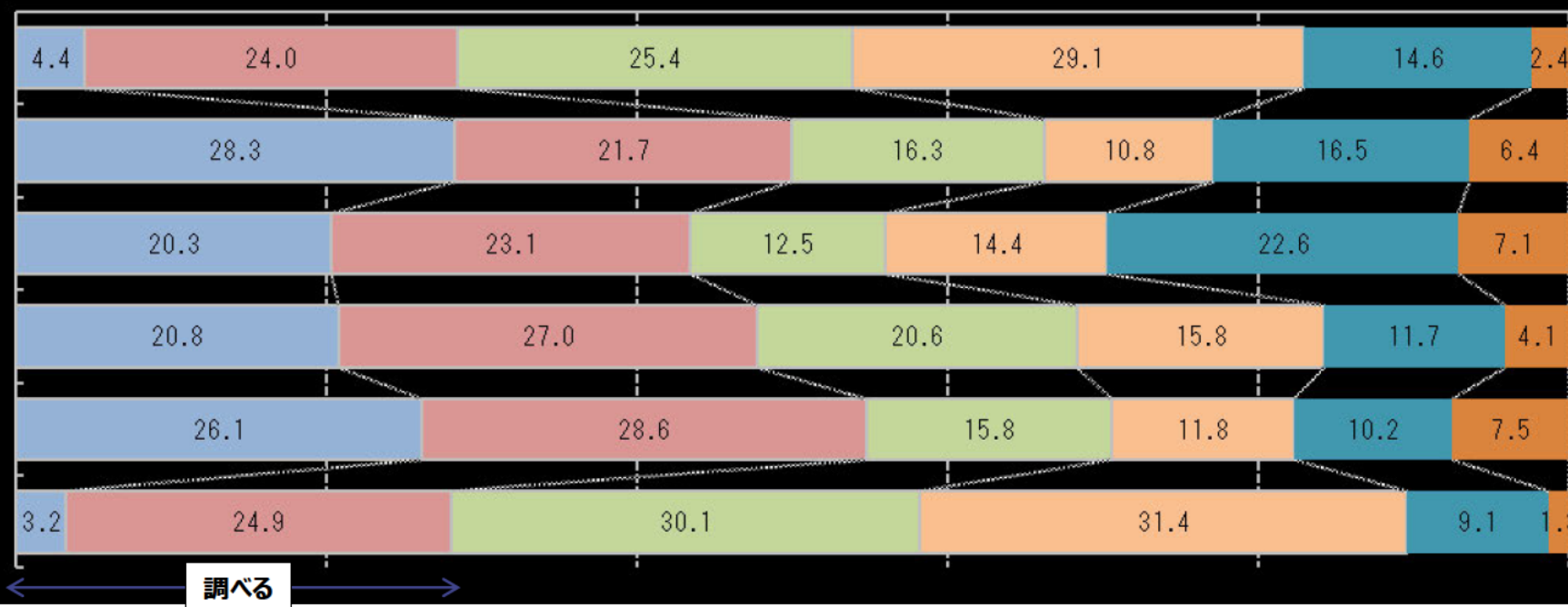
	全体	家族や友人、同僚などに直接会って話した・電話で話した・メールした	家族や友人、同僚などにメッセージアプリで共有した	SNSに投稿した	SNSで流れてきた情報を拡散（シェア・リツイート）した	ブログなど、SNS以外のインターネット上に投稿した	その他の方法で拡散した	共有・拡散していない	わからない
日本	(95)	50.5	40.0	20.0	18.9	14.7	10.5	12.6	1.1
アメリカ	(260)	47.3	44.6	28.5	31.2	26.9	14.6	5.8	1.2
イギリス	(161)	35.4	47.2	26.1	28.6	26.1	10.6	11.2	1.2
フランス	(219)	57.1	42.9	19.2	22.4	18.7	9.1	7.3	1.8
ドイツ	(194)	48.5	46.4	26.3	28.4	24.2	11.3	6.7	0.5
韓国	(155)	56.1	40.0	17.4	12.9	12.3	7.7	12.9	2.6

先程の設問で「正しい情報だと思った・情報を信じたため、共有・拡散した」と回答した方にお伺いします。あなたはなぜその情報を共有・拡散しましたか。理由としてあてはまるものをすべてお知らせください。

- 日本の上位3つをみると、「その時点では、その情報の真偽がわからなかったが、他の人にとって役に立つ情報だと思ったから」、「その時点では、その情報が正しいものだと思い、他の人にとって役に立つ情報だと思ったから」、「その時点では、その情報の真偽がわからなかったが、その情報が間違っている・誤解を招く情報である可能性があることを他の人に注意喚起をしようと思ったから」であった。
- アメリカ、イギリス、フランス、ドイツでは「その時点では、その情報の真偽がわからなかったが、他の人にとって役に立つ情報だと思ったから」が最も高くなった。韓国では「その時点では、その情報が正しいものだと思い、他の人にとって役に立つ情報だと思ったから」が最も高くなった。
- 韓国以外の対象国においては、「真偽がわからなくても、他の人にとって役に立つ」という理由で情報共有・拡散した人が最も多くなった。

	全体	その時点では、その情報が正しいものだと思い、他の人にとって役に立つ情報だと思ったから	その時点では、その情報の真偽がわからなかったが、他の人にとって役に立つ情報だと思ったから	その時点では、その情報の真偽がわからなかったが、その情報が間違っている・誤解を招く情報である可能性があることを他の人に注意喚起をしようと思ったから	情報の真偽に関わらず、その情報が興味深かったから	情報の真偽に関わらず、流行っている話題だったから	特に意味は無い	その他
日本	(95)	32.6	36.8	31.6	26.3	11.6	8.4	0.0
アメリカ	(260)	41.2	45.0	39.2	34.2	20.0	5.8	0.4
イギリス	(161)	28.0	41.6	41.6	28.0	14.9	7.5	0.6
フランス	(219)	37.4	40.2	37.9	21.5	13.7	7.3	0.0
ドイツ	(194)	34.5	49.0	41.8	32.0	16.0	5.7	0.0
韓国	(155)	51.6	40.0	27.7	16.8	12.3	9.7	0.6

先程「正しい情報かどうか分からなかった」又は「信じなかった」と答えた情報を見かけたかと答えた方にお聞きます。その情報が怪しいと思った場合、情報の真偽を確かめたことはありますか。



調べる

新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関する情報を見かけて、その情報が怪しいと思って真偽を調べた場合、情報の真偽をどのようにして確かめましたか。あてはまるものをすべてお知らせください。

- 日本の上位3つをみると、「自国の政府機関による情報を確認した」、「検索サービス（例：Googleなど）を利用して検索し、その情報について他にどのような意見や反応があるか調べた」、「テレビ放送局による報道を確認した」であった。
- アメリカ、イギリス、ドイツでは「世界保健機関（WHO）や専門機関による情報を確認した」が最も高くなった。また、フランス、韓国では「自国の政府機関」が最も高くなった。

	全体	世界保健機関（WHO）や専門機関による情報を確認した	自国の政府機関による情報を確認した	テレビ放送局による報道を確認した	新聞社による報道を確認した	検索サービス（例：Googleなど）を利用して検索し、その情報について他にどのような意見や反応があるか調べた	SNS内で検索し、その情報について他にどのような意見や反応があるか調べた	情報の発信者が信頼できる組織や人物なのかを確認した
日本	(1076)	21.0	35.0	32.2	12.7	34.6	16.7	12.4
アメリカ	(510)	47.6	42.7	17.3	13.7	33.1	12.0	18.0
イギリス	(563)	46.7	43.7	20.8	15.5	23.4	10.8	10.3
フランス	(582)	36.3	37.5	31.1	17.5	27.0	8.4	11.7
ドイツ	(527)	41.2	41.0	27.1	16.9	35.7	11.0	16.9
韓国	(587)	23.9	41.1	33.2	12.3	40.9	15.0	13.3

	全体	SNSで投稿内容に対して警告ラベルがつけられており、その内容を確認した	1次ソースを調べた	質問系ネットサービスで聞いた	ファクトチェック※の結果を確認した	書籍・新聞などで調べた	家族・知人・同僚などに聞いた	その他
日本	(1076)	2.8	8.0	2.2	3.8	5.1	15.5	4.2
アメリカ	(510)	4.3	16.5	4.7	14.5	5.5	14.5	6.9
イギリス	(563)	2.1	7.8	2.0	9.2	5.3	11.7	5.9
フランス	(582)	2.9	8.6	2.7	6.2	7.4	16.0	4.1
ドイツ	(527)	3.6	13.3	4.4	9.3	8.0	22.8	3.4
韓国	(587)	1.9	6.5	2.2	14.3	3.6	15.8	1.7

調査結果（17）真実または真偽不明の情報として記載されていた媒体

国際比較

先程、新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関する間違った情報や誤解を招く情報（いわゆるフェイクニュース・デマ）を見たり聞いたりしたことがあると回答した方にお伺いします。以下のサービスやメディアなどで、あたかも真実または真偽不明の情報として書かれているのを見かけたことはありますか。※その情報が「真実ではない」、「誤解を招く」、「フェイクニュース・デマである」といった注意喚起の形で見かけた場合は除きます。

- 日本の上位3つをみると、「Twitter」、「民間放送局」、「Yahoo！ニュース」であった。
- アメリカ、イギリス、ドイツでは「Facebook」が最も高くなった。フランスでは「自国の政府機関」、韓国では「YouTube」が最も高くなった。

	全体	世界保健機関 (WHO) や専門機関	自国の政府機関	公共放送局 ※国営放送局含む	民間放送局	新聞社	オンラインニュース組織	Yahoo！ニュース	LINE NEWS	Google News	Apple News	MSN	その他のニュース系アプリ・サイト	Facebook	Twitter
日本	(1237)	8.8	11.5	12.0	21.0	6.7	10.0	20.8	6.5	3.4	0.6	0.9	9.5	4.7	29.7
アメリカ	(780)	31.4	31.3	23.6	22.8	18.7	20.5	10.9	6.2	17.1	6.9	5.3	7.7	31.5	14.5
イギリス	(737)	22.9	22.8	17.2	14.4	16.0	15.3	6.0	3.3	9.1	3.7	1.6	3.7	33.5	16.6
フランス	(777)	21.9	28.1	22.8	15.6	23.6	14.2	6.7	3.7	16.9	4.0	3.6	3.9	26.1	12.7
ドイツ	(741)	21.7	20.9	22.0	17.0	14.7	11.9	5.4	4.7	17.0	4.3	3.2	6.5	28.3	12.0
韓国	(770)	10.6	17.0	14.7	16.9	13.2	17.7	2.7	1.4	6.0	1.7	2.2	21.0	21.6	13.6

	全体	Instagram	LINE (タイムライン・グループチャット)	WhatsApp グループ	その他の SNS	YouTube	その他の動画系アプリ・サイト (YouTube以外)	Yahoo！知恵袋	検索サイト	その他のブログやまとめサイト	クラブハウス	家族や友人、同僚などの直接の会話・電話・メール	家族や友人、同僚などのメッセージアプリのやり取り	その他
日本	(1237)	7.4	3.0	0.5	4.0	13.9	2.3	7.0	6.9	9.9	0.8	9.9	4.0	3.6
アメリカ	(780)	16.8	3.3	4.4	10.9	20.8	3.5	3.1	7.6	5.9	1.3	16.4	12.1	2.4
イギリス	(737)	14.9	2.2	5.7	9.5	12.6	3.1	1.1	6.9	3.0	0.7	13.2	11.4	2.8
フランス	(777)	15.2	2.4	5.1	7.3	12.0	2.1	0.9	8.1	3.7	1.0	10.3	11.7	1.0
ドイツ	(741)	20.8	2.7	7.2	9.9	20.4	4.3	2.2	5.4	4.0	0.5	14.2	11.3	2.2
韓国	(770)	19.9	1.6	1.2	9.7	40.1	3.8	0.6	8.3	7.4	0.4	12.2	9.1	1.3

調査結果 (18) 情報の真偽について注意喚起を併記していた媒体

先程、新型コロナウイルスやコロナウイルスワクチンに関する間違った情報や誤解を招く情報（いわゆるフェイクニュース・デマ）を見たり聞いたりしたことがあると回答した方にお伺いします。以下のサービスやメディアなどで、その情報が「真実ではない」、「誤解を招く」、「フェイクニュース・デマである」というように注意喚起されているのを見かけたことはありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。

- 日本では、上位3つをみると、「民間放送局」（32.9%）、「自国の政府機関」（28.3%）、「公共放送局 ※国営放送局含む」（24.6%）であった。
- 諸外国をみると、「アメリカ」、「イギリス」、「フランス」、「韓国」では「自国の政府機関」が最も高くなった。ドイツでは「Facebook」（22.1%）が最も高くなった。

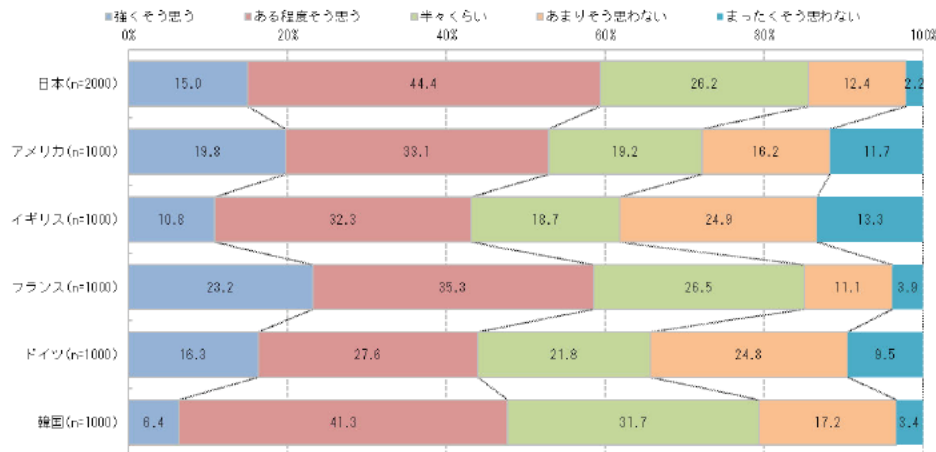
	全体	世界保健機関 (WHO) や専門機関	自国の政府機関	公共放送局 ※国営放送局含む	民間放送局	新聞社	オンラインニュース組織	Yahoo! ニュース	LINE NEWS	Google News	Apple News	MSN	その他のニュース系アプリ・サイト	Facebook	Twitter
日本	(1237)	14.2	28.3	24.6	32.9	9.1	6.1	16.1	4.1	3.4	0.7	0.5	3.8	2.6	18.5
アメリカ	(780)	30.8	32.3	25.4	21.9	17.6	18.3	10.9	4.6	16.9	9.0	6.4	7.3	29.1	15.4
イギリス	(737)	24.8	28.0	20.9	14.8	17.0	12.9	5.6	3.0	8.0	3.4	2.8	3.7	26.6	13.2
フランス	(777)	22.3	29.2	22.5	16.2	20.8	8.9	6.0	2.3	14.9	3.0	3.6	3.2	21.9	11.1
ドイツ	(741)	20.4	19.3	16.1	14.7	11.7	10.0	5.4	4.3	13.2	4.7	3.1	6.3	22.1	9.7
韓国	(770)	17.3	35.7	30.6	19.7	12.5	10.3	0.8	1.7	5.5	1.7	1.6	15.7	11.3	7.0

	全体	Instagram	LINE (タイムライン・グループチャット)	WhatsApp グループ	その他のSNS	YouTube	その他の動画系アプリ・サイト (YouTube以外)	Yahoo! 知恵袋	検索サイト	その他のブログやまとめサイト	クラブハウス	家族や友人、同僚などとのメッセージアプリのやり取り	家族や友人、同僚などとの直接の会話・電話・メール	その他
日本	(1237)	3.5	1.3	0.3	2.1	8.0	1.3	1.9	3.6	3.5	0.7	2.7	6.9	5.7
アメリカ	(780)	16.7	4.5	5.0	10.6	16.0	3.8	2.6	7.1	5.3	0.8	12.6	14.4	2.4
イギリス	(737)	11.8	2.0	3.7	7.3	10.0	2.3	1.8	5.4	2.4	1.2	9.9	10.7	3.4
フランス	(777)	13.1	3.0	3.3	6.4	11.7	2.7	1.4	7.5	2.7	1.2	10.9	8.6	2.7
ドイツ	(741)	17.7	2.0	4.5	6.5	13.2	3.0	1.8	3.4	2.7	1.3	7.8	8.6	7.3
韓国	(770)	11.7	0.5	0.6	4.3	25.5	2.2	0.6	6.1	3.0	0.4	6.9	9.1	2.1

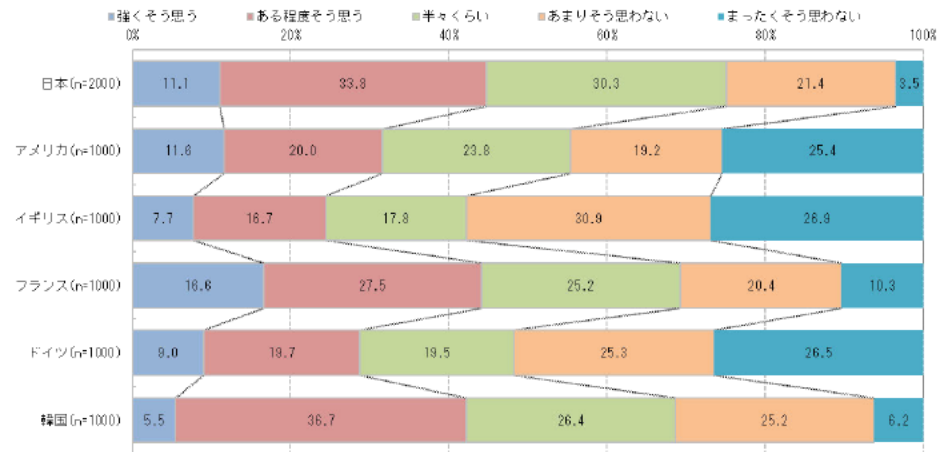
次の意見について、あなたはどのように思いますか。

□「思う」（強く思う+ある程度思う）に注目する。全対象国に共通した意見として、「新型コロナウイルスに関するファクトチェックがもっと積極的に行われることが必要だ」、「SNS事業者は新型コロナウイルスに関するファクトチェック結果をユーザに対して届けることが必要だ」への「思う」の割合が上位3位までに入った。

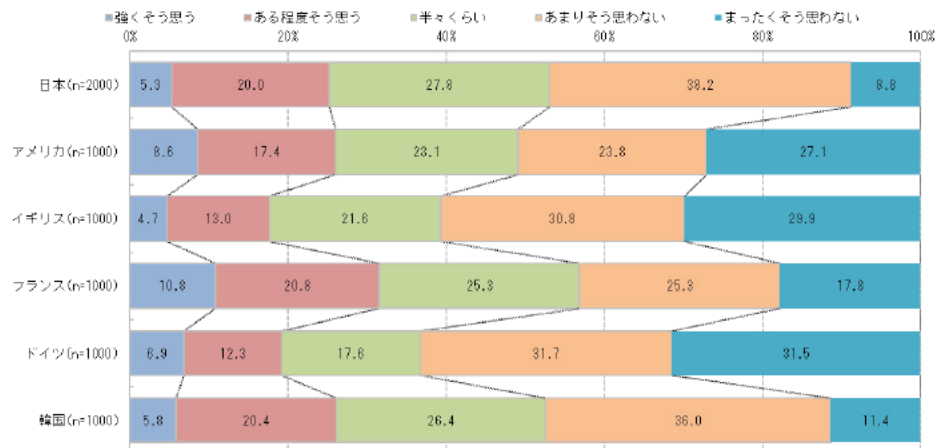
新型コロナウイルスについて、何が正しいのか、何が間違っているのかを判断するのは難しい



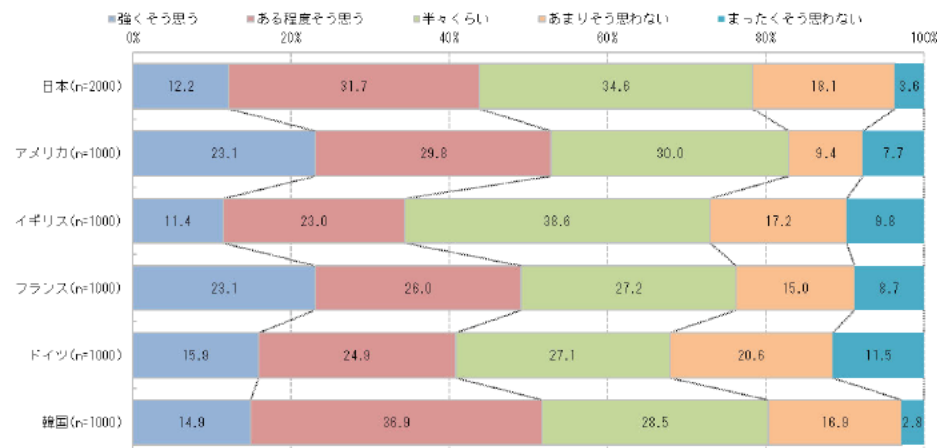
新型コロナウイルスについて、どうすれば正しい情報が得られるのかわからない



新型コロナウイルスに対して、自分が何をすべきかわからない

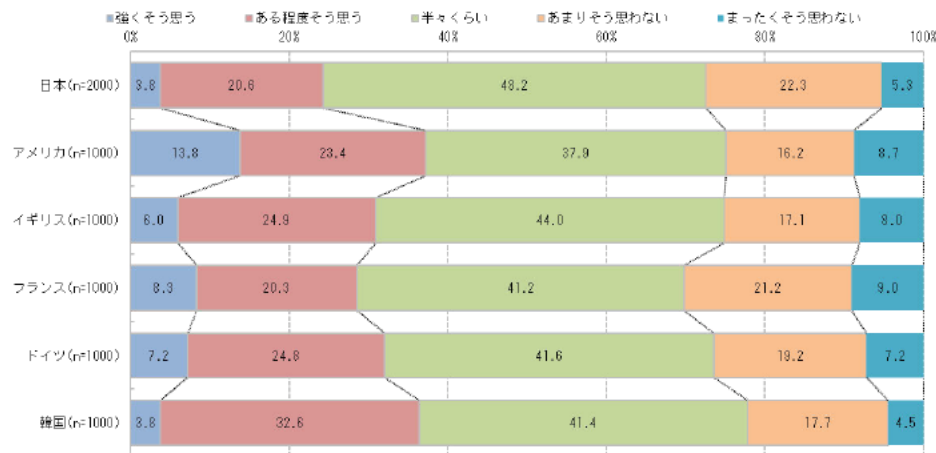


新型コロナウイルスに関する情報をもっと収集したい

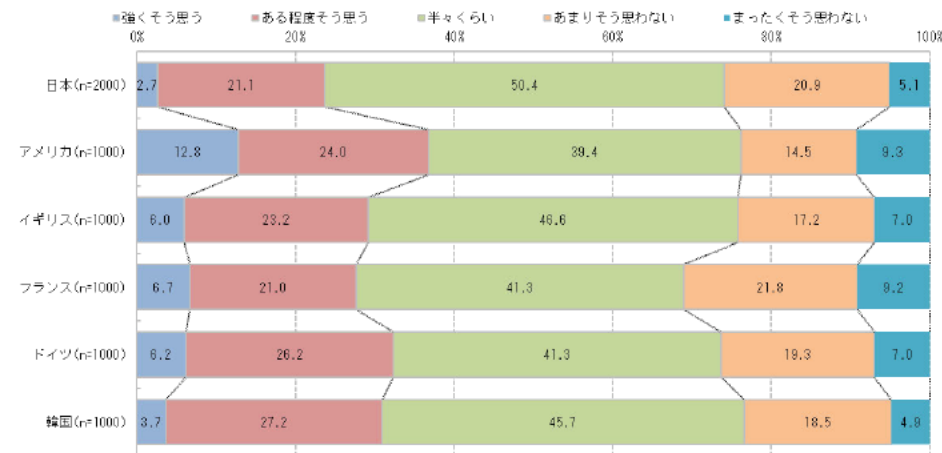


次の意見について、あなたはどのように思いますか。

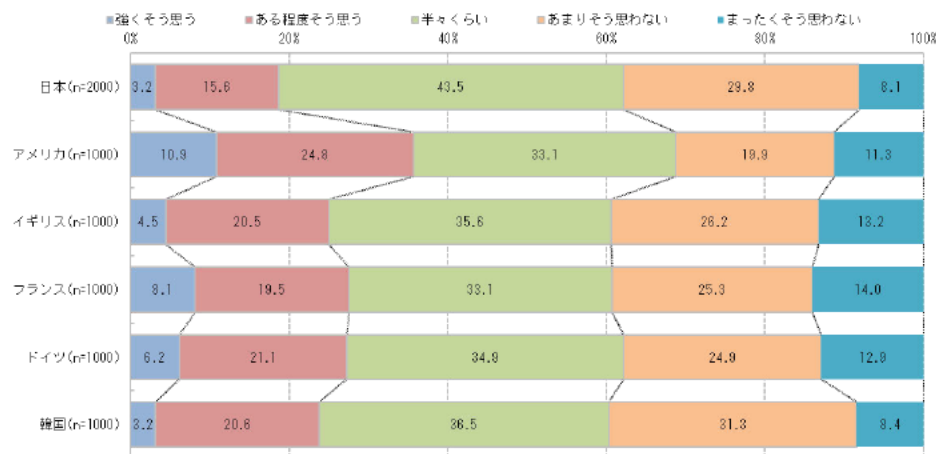
ニュースポータルサイト・アプリなどのネットメディアは、
新型コロナウイルスの深刻さについて適切に報道している



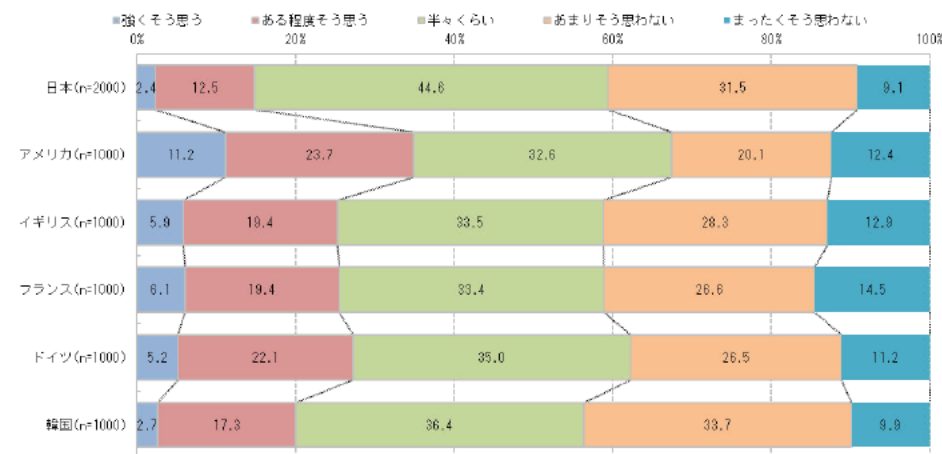
ニュースポータルサイト・アプリなどのネットメディアは、
新型コロナウイルスについて正しい情報を報道している



SNS事業者は、新型コロナウイルスに関する信頼できる情報を目立つ
場所に表示するなど、ユーザーに対して正しい情報を届けるための工夫
を適切に行っている

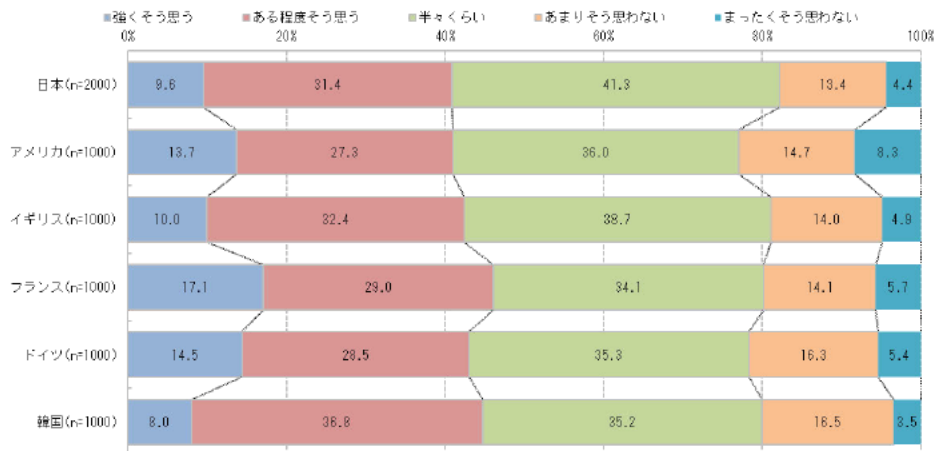


SNS事業者は、新型コロナウイルスに関する間違った情報や誤解を招く
情報がユーザーに対して表示されないための工夫を適切に行っている

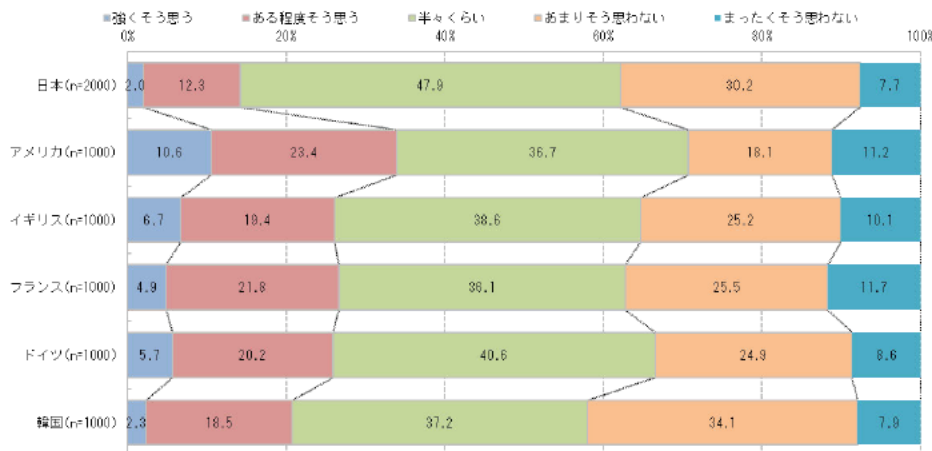


次の意見について、あなたはどのように思いますか。

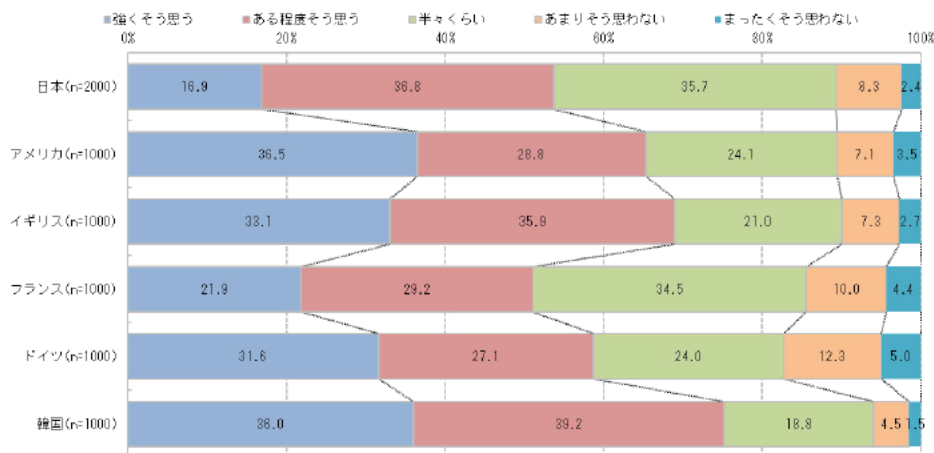
SNS事業者が新型コロナウイルスに関する間違っただ情報や誤解を招く情報に対してどのような対応を行っているのかわからない



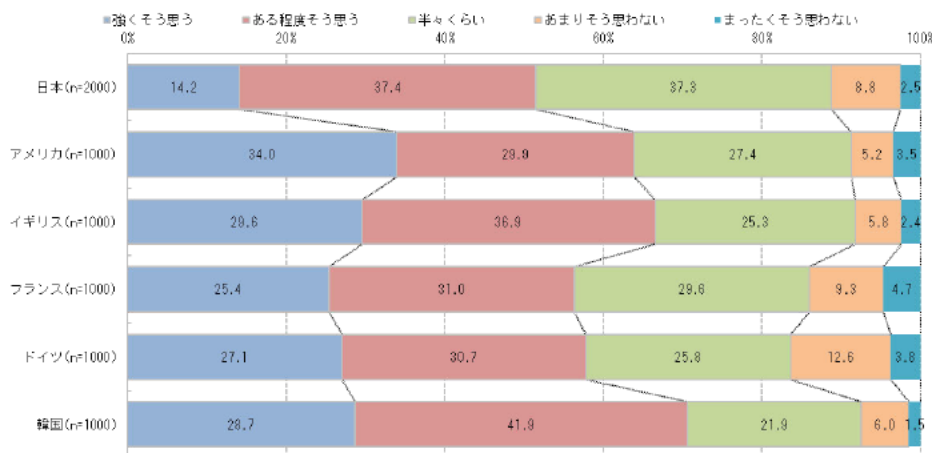
SNS事業者は、新型コロナウイルスに関する情報流通について、全体的に適切な対応を行っている



新型コロナウイルスに関するファクトチェックがもっと積極的に行われることが必要だ

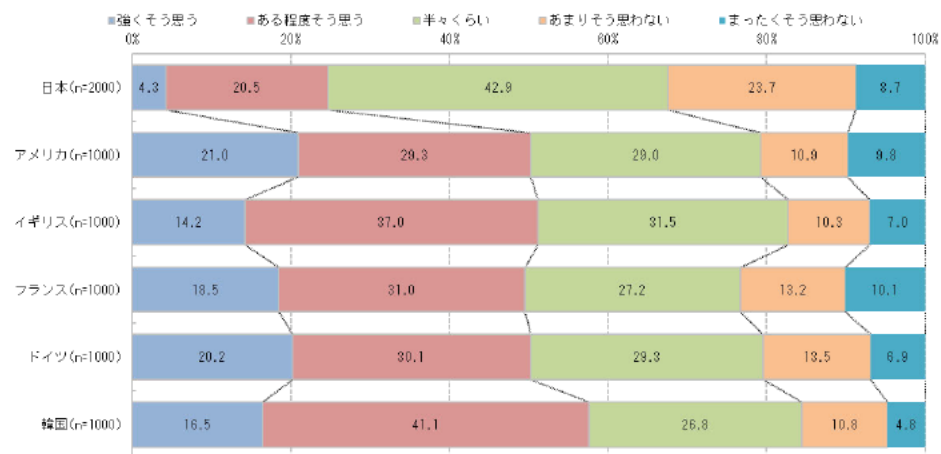


SNS事業者は新型コロナウイルスに関するファクトチェック結果をユーザに対して届けることが必要だ



次の意見について、あなたはどう思いますか。

政府は、国民に対して正しい情報を届けるための工夫を適切に行っている



あなたが、SNSにアクセスした際に、SNSプラットフォームから、その情報が信頼できない/真実でない可能性があるという警告や通知が添付されたニュースや情報を目にすることがどのくらいありますか。

- 日本の上位3つをみると「ほとんどない」、「ときどき」、「見たことはない」であった。
- なお、虚偽可能性があるとの警告や通知を「目にしたことがない人」（ほとんどない+見たことはない）に注目すると**日本が約6割となり、最も高くなった。なお、2番目に高かったのはイギリスとドイツの約4割であった。**

	全体	使うたび	ほとんどの場合	ときどき	ほとんどない	見たことはない	目にしたことがない
日本	(2000)	2.3	7.1	31.4	32.8	26.5	59.3
アメリカ	(1000)	15.6	20.9	35.7	14.8	13.0	27.8
イギリス	(1000)	6.2	18.6	31.1	25.6	18.5	44.1
フランス	(1000)	7.2	20.3	40.1	20.0	12.4	32.4
ドイツ	(1000)	5.5	19.6	30.8	21.6	22.5	44.1
韓国	(1000)	4.5	15.4	40.3	29.8	10.0	39.8